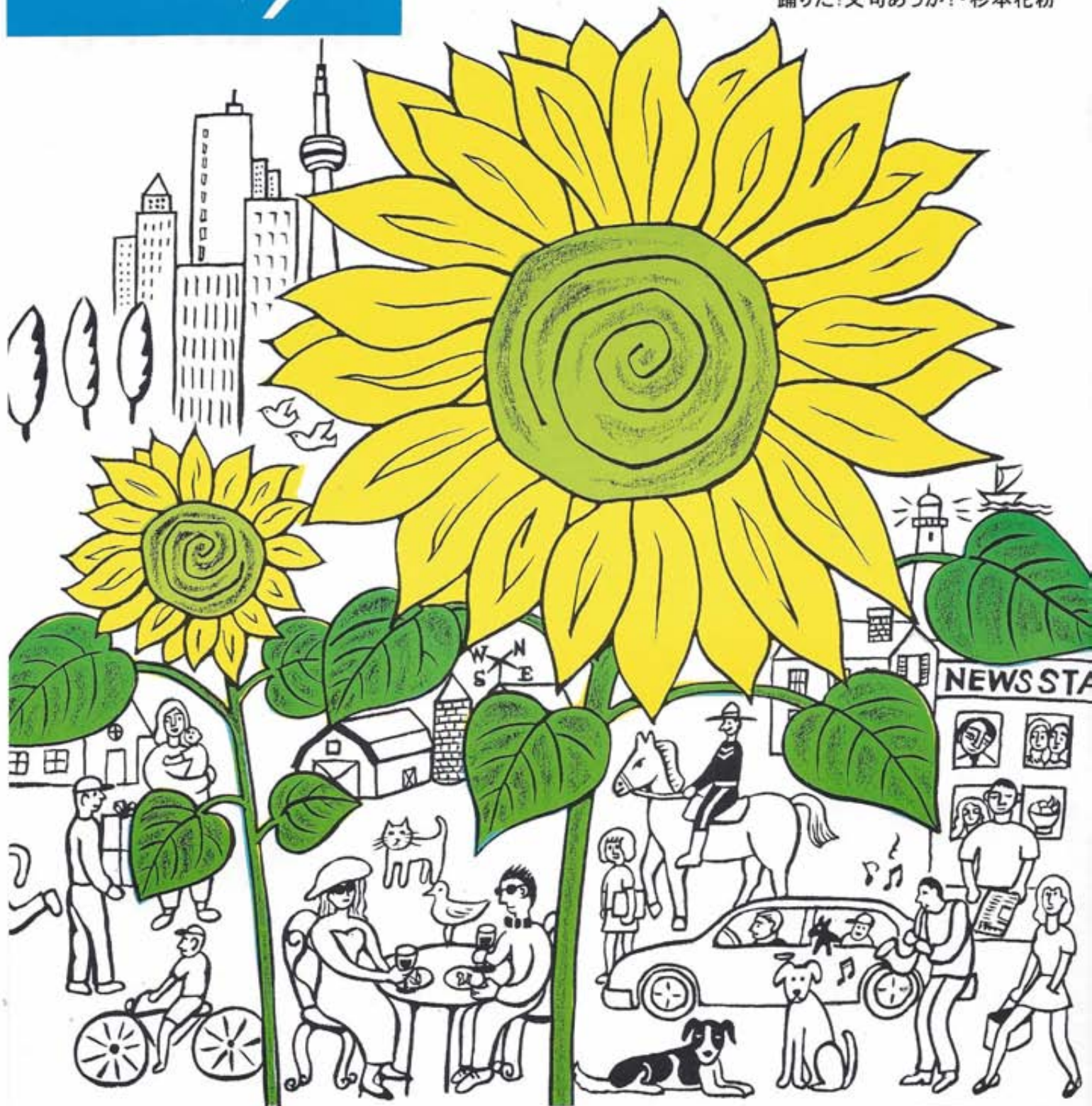


カナダ

「外交夜話」1人の白人と1人の黒人が踊ったタンゴ・原聡
音楽とテクニク・小松長生
私のアラスカ物語・辻本明子
ビクトリア老人ホーム訪問記・尼子三矢子
東西QUEEN STを往く・島川大輔・日塔富夫
物語「4人の富美」小野冬生
踊りだ!文句あっか!・杉本花粉



カナダのライフスタイル誌・第35号2001年夏 4ドル

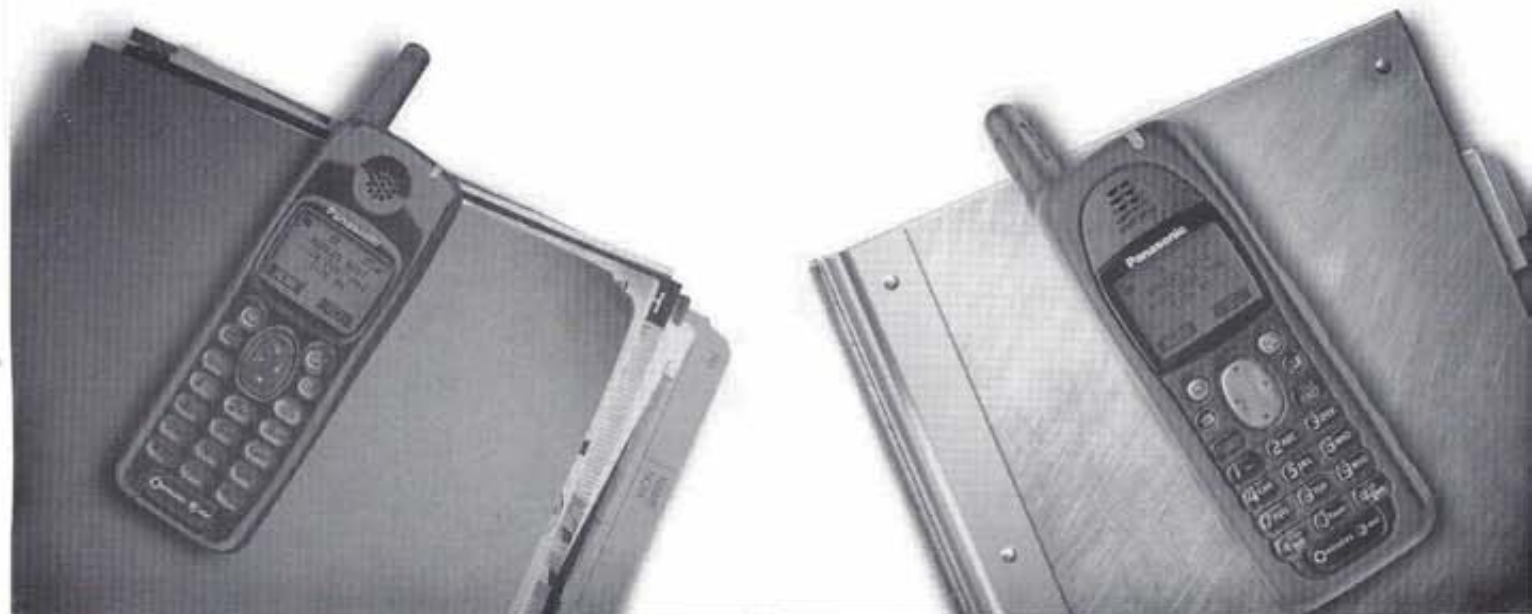
COMES IN REGULAR
AND EXTRA STRENGTH

Panasonic
DIGITAL CELLULAR



WIRELESS

Panasonic is a trademark of Matsushita Electric Industrial Co., Ltd., used under license by Panasonic Canada Inc.™ Rogers Communications Inc. Used under license. AT & T corp. Used under license.





夏のイベント・カレンダー		2
「音楽とテクニック」無限の広野の広がり	小松長生	4
「某月某日」おでんの玉子の”悟り”	塚本観登	5
見たり聴いたり試したり		6
「外交夜話」1人の白人と1人の黒人が踊ったタンゴ	原 聡	8
「カナダ往還」”ラグラグ会”	足立誠之	12
「タシメ/カズオ・ナカムラ初期作品展」	山本 博	14
「言わせてヨ!」踊りだ、文句あっか!の巻	杉本花粉	15
「私のアラスカ物語」極北の短い夏	辻本明子	16
詩・二題	姫田和美	17
「シルクのようなレザー」瀬戸山久子レザーファッションショー		18
「名前の散歩道」名探偵VS名刑事	月華麗	19
クィーンストリートを往く/島川大輔・日塔富夫		20
「不老長寿の薬を探して」壮年と中国医学	後藤順子	22
「東京裏通信」ヴィクトリア老人ホーム見学記	尼子三矢子	24
「愛犬家の辛抱」素敵な出逢い達	森貞一弘	26
ジャック・ケルアックと『オン・ザ・ロード』		27
「ダンス・ダンス・ダンス」	村越直子	28
「無形の世界の中の存在」	鈴木ユウ	29
「松虫」に出会いを思う	多田早苗	30
インサイド・アウトサイド「民意と政治家と官僚」	高中公男	32
「表紙の言葉」ひまわり	山本 博	33
季節の食べるヒント		33
物語「四人の富美」	小野冬生	34
「本の紹介」”Tea with Milk”アラン・セイ	梶原由佳	39
編集室から		40



夏の Events Calendar



トロント

■ミュージック

▽「第一五回ダウンタウン・ジャズ・フェスティバル」
六月二二日ー七月一日
ビーバップ、ポストバップ、スイング、アフロキューバン、ブルース等、十日間に亘るジャズフェスティバル
416-928-2033



▽「チック・コリア」
六月二七日八時半

ネイサン・ワイリップ・スケエア
ジャズ・ピアノ四十年の長いキャリアを持つチック・コリアのニュー・トリオ(ベース、アヒアシ・コーヘン、ドラム、ジェフ・パラード)の演奏。
www.tjazz.com

■イベント

▽「トロント・インターナショナル・ドラゴン・ボート・フェスティバル」
六月二二ー二四日
トロントセンターアイランド
416-598-8945
www.dragonboats.com

▽「トロント野外アート展」
七月六日ー八日
ネイサン・ワイリップ・スケエア
416-408-2754

▽「第一三回トロント・フリンジフェスティバル」
七月五日
九十余の劇団によるトロント最大規模のシアター・フェスティバル。
416-966-1062
http://fringetoronto.edionysus.com

▽「第一一回フリンジフェスティバル・オブ・インテリゲンデント・ダンスパティ」
八月一日ー九日
二二六アネット・ストリート
416-410-4291
http://fida.edionysus.com



オタワ

■クリムト展「Modernism in Making」
ナショナルギャラリー
六月一五日ー九月一六日



ギユスタフ・クリムト(一八六二ー一九一八年)はアール・ヌーヴォーの秀逸した画家、イラストレーターとして著名であり、未だに彼の作品のコピーやポスターの売り上げは世界一だという。クリムトは一八八三年、兄フランツ・マツツと共にアート・デコレーターとして制作を始めた。その頃、ウィーンのブルグシアターや美術史博物館の壁画を手がけたが、これらの仕事がクリムトの地位を確固としたものにした。彼は又、アートスクール「ウィエナ・セセッション」の創立者でもあり、当時最先端の建築家およびアーティストの集団による「セセッション・ムーブメント」のリーダー的存在でもあった。クリムトのエロスと精神性、審美主義的作品は以後二十世紀のウィーンの知識界に大きな



日新 NISSIN TRANSPORT (CANADA) INC.

航空海上輸出入貨物輸送／倉庫保管／トラック運送／
海外・国内引越し／事務所移転…その他何でもご相談下さい。

「運送のデパート日新」国際ネットワーク

日本国内、米国、イギリス、ドイツ、オーストリア、スペイン、イタリア、香港、シンガポール、タイ、中国、ロシアの各営業拠点を結び、「NISSIN」による安くて、早くて、確実なサービスを提供します。

Toronto/ 42 Voyager Ct, N. Etobicoke, ONT.M9W 4Y3 Tel: (416) 674-0503 Fax: (416) 674-0881
Alliston/ 292 Church St. S., P.O.Box 149, Alliston, ONT Tel: (705) 434-3136 Fax: (705) 434-3140
Vancouver/ #6-11411 Placksmith Place, Richmond, B.C. V7A 4T7 Tel: (604) 276-9691 Fax: (604) 276-0881

影響を及ぼした。
613-990-1985,
<http://national.gallery.ca>

モントリオール

■アート

▽「ピカソ・エロティック」

六月一四日ー九月一六日
モントリオール美術館
ピカソの生涯を通じた作品から、愛とセックスをテーマにした作品を抜粋して五十点余の彫刻、絵画及び百点余の水彩、スケッチ、版画等を展示。

514-285-2000, www.mbam.qc.ca

▽「マジシャンズ・ガーデン」

六月二一ー十月八日
エクレスパーク
植物や花による彫刻展

514-868-4000

▽「アルテファクト2001ー都市の彫刻展」

七月一日ー九月三〇日

■ミュージック

▽「クローデット・ディオニーピアフを歌う」

六月二二日ー九月二日

ポルト、フィオレンティーノ・レストラン

514-527-3644/848-9222

▽「デュ・ラノディエール・インタナショナルフェスティバル」

六月二九日ー八月二二日

アンフィシアター、ジュリエット各教会
モントリオール・シンフォニーはじめ、内外の室内楽、ソロイストによるクラシック音楽中心のサマー・コンサート・シリーズ、内田光子(七月二十日)、アントン・クツァイのベートーベンのピアノソナタ最後の五曲(二八ー三一番、六月二六日)など。

1-800-561-4343/450-759-4343
<http://www.lanaudiere.org/en/>

■ミュージカル

▽「シエルプールの雨傘」

七月二六日ー八月一日
シアター・デュジュヌ

1-800-361-4595/514-842-2112

▽「パンカ」

七月十日ー一五日

ウィルフレッド・ハレティエホール
(フランスザール)

1-800-361-4595/514-842-2112

バンクーバー

■アート

▽「Women Build Africa」

バンクーバー美術館

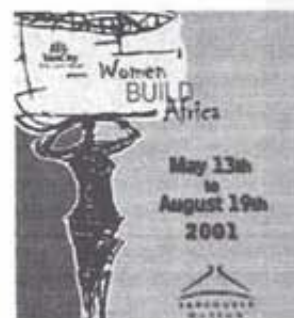


Illustration: Monique Le Houelleur

五月一三日ー八月一九日
音楽、詩、アートを通して、政治、経済に果たしたアフリカ女性の勇氣や精神、改革を探る。

www.vanmuseum.bc.ca

▽「Totems: An Icon of Cultural Identity」

ヒルズ・ネイティブアート美術館
五月一日ー十月二日

604-685-5422

▽「ワイマール共和国の版画とドローイング」

バンクーバー美術館
六月二日ー九月三日

604-682-4700

■ミュージック

▽「ザ・モーツアルト・コネクション」

パフォーミングアート・チャン・セン
ター

七月二七日ー八月四日

602-822-2697

▽「デュモリエール・インタナショナル・ジャズフェスティバル」

パリラス・ピーナス



604-687-1644

▽「海辺の吟遊詩人ーシークスピア・フェスティバル」

六月一三日ー九月二三日

ヴァリア・パークで「アンソニーとクレオパトラ」、「じやじや馬馴らし」、ダグラス・キャンベル・スタジオで「ペロナの二人の紳士」

(フェイスカリー二節子)

 **日新トラベル** NISSIN TRAVEL, a division of
NISSIN TRANSPORT (CANADA) INC. 

出張、家族旅行、その他何でも
旅のことなら日新へご相談下さい。

TORONTO 42 Voyager Ct. N. Etobicoke, ONT. M9W 4Y3
Tel:(416)674-7057 Fax:(416)674-0881

無限の広野の広がり 音楽とテクニック



小松長生



してきたが、各々が自分の表現・作曲者の意図にのっとった音を創り出すために、それこそ千差万別のスタイルを編み出している。

芸術家にとって常なる挑戦と喜びとは、自分や作品と真つ正面から向き合うことであろう。その行為を、第三者のお墨付きをもらうことに置き替えたり、単純にミスタイクで測り得る次元に持ち込むのなら、これほど安易な道はないではないか。

こうなると、「テクニック」への拘泥は、苦しい道から目をそらす格好の機会になる。自分を発露させる手段として、そして、作曲家・作品に仕えるための手段として、重層的な意味での「テクニック」を築き上げてゆく機も逸する。

不思議なもので、自分の求めている音や音楽が見えてくると、練習も苦ではなく、その音を創り出すための「テクニック」の練習に夢中になるそうである。それは、あたかも数学者や物理学者が未発見の公式を探り当てるのに似てはいないだろうか。

何人も「こうでなければならぬ」と押しつけない。無限の広野が見渡す限り広がっているのである。(東京フィルハーモニー正指揮者、リヴォフ国立歌劇場首席客演指揮者)

指を鍵盤から離して弾くのと離さずに弾くのではどちらが「正しい」のかと、私がピアニストでもないのに聞かれる。そもそも「完璧・パーフェクトなテクニックは？」との類いの質問をもつばら日本の音楽好きの方々からのみ受けるのを長い間不思議に思っていた。そういえばテレビで観るプロ野球でも、日本の選手はよく似たフォームをしているが、大リーガーは各人まちまちである。私も数多くのピアニストと協演

作曲家とその作品が何を意図しているか、自分はどう表現したいかを常に見据えている。そして、その実現のためにはどうしたらよいかと試行錯誤した末に、自分にもっとも適したのとして、テクニックが備わるべきであろう。もちろん、それをアシストする師、『導師』に巡り合うのも肝要ではある。そしてシンの教育とは価値観を押しつけて依存心のある人間をつくることではなく、マスター(師)に値する人を育てることだと思う。

 日本関連書籍・参考書(英文・日本語)
日本語教材・新聞・雑誌・AV, CD Rom
貸し出し及びレファレンスサービス

THE JAPAN FOUNDATION TORONTO LIBRARY
国際交流基金トロント日本文化センター図書館
131 Bloor St. West, Suite 213, The Colonnade 2nd Floor,
Toronto, ON M5S 1R1

Mon-Fri, (except Thurs.) 11.30am-4.30pm
Thur, 2.00pm-7.00pm
Sat, (1st Sat, of the month) 1.00pm-5.00pm
Tel: Library circ, desk direct: (416) 966-2935
Fax: (416) 966-0957 E-mail: library@jftor.org
http://www.japanfoundationcanada.org

 東京ツアーズ(株)
TOKYO TOURS LTD.

まごころと感謝を胸に

旅

のご相談にお応えします。

TORONTO HEAD OFFICE
Tel: (416) 504-5111 Fax: (416) 504-5115
436 Adelaide Street West, Toronto, Ontario M5V 1S7

FUJI VIP CONNECTIONS
Tel: (905) 672-8855 Fax: (905) 672-8860
Sheraton Gateway Hotel / Toronto International Airport

MONTREAL
Tel: (514) 842-1757 Fax: (514) 842-0916
625 Ave Du President Kennedy, Suite 1203, Montreal, Quebec H3A 1K2

最近、仏教の教義や勉強会の間
い合わせが多くなりました。日本では、法事やお葬式の時にしか縁がないと思われている仏教ですが、ここカナダにはこれらの習慣がありませんので、仏教本来の姿を見ることが出来ます。

仏教の教えは人を正しく導くことにあります。ですからもともとお葬式はしませんでした。お釈迦様が八十歳で亡くなられた時も、仏教ではなくバラモン教でお葬式をされたと言います。また、お経は呪文のように思われがちですが、実は人生の考え方、生き方、価値観が説かれてあり大変興味深いものです。

その中の一つをご紹介します。う。仏教の法華経の中に十界互具という教えがあります。これは私達の心の動きを解き表したものです。それによりますと、私達の心には、人間の心は勿論、仏や神の心もあれば、同時に動物や地獄の心など十の世界があり、それらが相互に備わって瞬間、瞬間に影響し変化しあつて、私達の心は成り立っていると説きます。

つまり私達の心の働きは一つの感情だけで存在することはなく、さまざまな感情が集まって一つの心を構成していると説きます。

たとえば愛について、愛は人々の関係を保つ上で重要です。そこで、この教えをもとに考えますと、実は愛という心は愛という要素だけでは存在しないということになります。愛の中には怒りやエゴ、疑い、憎しみ、尊敬、喜び、希望、悲しみなどのさまざまな感情がミックスされて愛という心を構成しているということですが、そのために時々、愛は

某月某日

おでんの玉子

と「悟り」

塚本観登(かんと)

憎しみに変わったり、怒りに変わったりすると言います。それは愛の中のエゴと疑いと怒りがより強くなれば愛は嫉妬に変わりますし、怒りと喜びとエゴが強くなれば虐待愛に変わります。愛に限らず私達の心は常に変化していく特徴を持っています。このことをよく理解して人と付き合えば、相手の心や行

動も理解できますし、相手の突然の変化に戸惑う必要もありません。

さらに、この經典は、世の中に辛いこと、嫌なものがあるから、人生が楽しめるのだと教えます。今度は一つのたとえ話を使って説明しましょう。

私はおでんが大好きで、寒い季節になりますとよくおでんを作りました。沢山の具の中で、スターは何といつても玉子であると私は信じています。

ある日のこと、好きな玉子を腹一杯食べたくて、玉子のおでんを作りました。大きな鍋を買い、その中に入るだけの玉子を入れて、じっくり煮込み、美味しそうに出来上がりました。それを期待しながら食べますと、何故か美味しくありません。いつもの味と違い、深みがない、物足りない味でした。その時、鍋の中を見ながら考えました。何が原因か、だし？それとも玉子？考えていく内にやつと分かりました。

おでんというのは沢山の色々な具が合わさって出来ている料理だということですが、それは、多くの具から色々な味が出て来て、合わさってさらに美味しいスープとなり、その味が具を美味しく煮込み、おでんを

より美味しくするのだと気づきました。私が、好きな玉子を沢山食べようと玉子だけを入れて作ったのが間違っていたのです。本当に美味しくするには他の具や私の嫌いな、ちくわぶや昆布も入れてはじめて本当に美味しいおでんが出来るのだと知りました。

人生も同じで、様々な人、違う性格の人がいるから楽しいのではないかと、もし、自分の好きな人ばかりであつたなら、喧嘩は少なくとも、学ぶことも人生について考えることも少ないであろう、嫌いな人、嫌な人がいるから、喧嘩もし、悩み、自分の人生を見つめ正しい生き方を学ぶのではないだろうか。様々な人との出会い、人生のスープでじっくり煮込まれた人は最高の味を出すことでしよう。楽しむなら、したくない努力もしなければならぬ。嫌な人にも会わなければいけない。だからこそ、人生を楽しむことが出来るということですが。

これは、一念三千(一瞬の思いつきにも三千の世界がある)という教えです。仏教、それは自分の心をコントロールすることを教えます。それを「悟り」と呼ばれています。

合掌

(トロント日蓮仏教会)



★魔法の櫛くし

誕生日には、まだ程遠いのだが、妻が新兵器を購入してきた。実は、二年前紹介した旧兵器「モリガナ」は、かなり効果があったのだが、サプリメントというところで、継続するには、出費がかさみ、諦めざるをえなかったのだ。しかし、今回の「魔法の櫛」は電池を交換するだけの費用で済む。

原理はというと……なんや、よう解らないのだが、とにかく中国医学でいう鍼灸の頭のツボ（それらしく説明書がついている）を電気で刺激するらしい……うくん、ちよつと怪しいけど……まあ、いいか。要するに理論とかは、この際、どうでも、いいのである。

朝晩、それぞれ、十分ずつ、電源スイッチを入れて、ゆつくりと、（毛の有無に関係なく）髪をとくように、前か

ら後へ経絡にそって頭皮を刺激するのだ。うくん、なんやら、ビリビリくるのだが、これ位なら、我慢のしどころと、一生懸命、無心になつてやるのが、肝心だ。

三日後、やたらと頭が、痒くなつてきたと思つたが、どうやら、かぶれてるわけでは、ないようだ。それどころか、髪の毛の色が、すこく濃くなつてきたぞ。「ひよつとして、今回こそ、効き目があるかも？」と嬉しくなつて、再び禿げ治療に励んでいる今日、この頃である。

そんな具合に興奮している僕に、水を差すように妻は、ひとこと言い加えた。「たばこを、止めて、好き嫌いなくなんでも食べないとダメ」らしい……。

（写真は魔法の櫛の効果を期待して）



★音楽も聴けるデジタルカメラ

好きな音楽を聴きながら写真も写せるというウオークマン付きデジタルカメラが登場した。フジフィルムの新機種「FinePix 4010」で掌の中に収まるくらいの小型サイズのデジカメにMP3プレイヤーとイヤホンが付いていて、写真を撮っていないときはウオークマンの役割を果たす。内蔵するスマートメディアカードにパソコンを使ってCDから好きな音楽をダウンロードして自分で編集して聴く仕掛けになっている。容量は二時間、曲のスキップや巻き戻しの操作機能付き。デジカメとウオークマンの二台を持たないで一台で済むところが取り柄。角形シルバーのモダンなデザインで胸ポケットに収まるサイズ。市場価格七九九ドルにもかかわらず売れ行きは良いそうだ。



ご旅行の御相談は
お気軽に JTB へ!!

JTB INTERNATIONAL (CANADA) LTD.
Royal Trust Tower, Suite 3105, 77 King Street West
Toronto, Ontario M5K 1E7 Fax: (416)367-4859

Tel: (416)367-5824 (JTBI)



航空券、ホテル、レンタカー、ツアー、クルーズ

★市川昆映画特集

シネマテック・オンタリオ(トロント・インターナショナル・フィルムフェスティバルの一部門で、会員制映画鑑賞団体だが会員外も可)では毎シーズン、テーマを組んで古今東西の名画特集をしている。七月は市川昆監督の特集で、その作品八十本の中から二十七本を選んで、七月三日から八月十日にかけて上演する。

五六年のカンヌ映画祭グランプリの「ビルマの豎琴」(竹山道雄原作)をはじめ、三島由紀夫の小説「金閣寺」を映画化した「炎上」、谷崎潤一郎原作の「細雪」や「鍵」、大岡昇平の「野火」等の文芸路線、「おとうと」「ぼんち」の家族もの、「満員電車」「股旅」「足にさわった女」「黒い十人の女」などのコメディ、「東京オリンピック」「太平洋一人ぼっち」(七月二六日)、「ぼんち」



写真は「炎上」の市川雷蔵と中村雁治郎
「足にさわった女」の越路吹雪と池辺良

ぼっち」の記録物、「雪の承変化」の時代物とその作品は多岐に渡っている。この際見落とした市川作品に接する絶好の機会、また長谷川一夫、池辺良、石原裕次郎、越路吹雪、江利チエミなど故人になった俳優・女優の演技、風貌に接するのも良し。市川昆映画特集は北米各地を巡演、カナダはトロントの後、バンクーバーのバシフィック・シネマテック(604-688-8202) モントリオールのシネマテック・ケベック(514-635-3800)で上演する。

トロントのスケジュールは次の通り。

「雪の承変化」「炎上」と「京都」(七月三日)、「野火」「ビルマの豎琴」(七月五日)、「鍵」「日本橋」(七月十日)、「十人の黒い女」「処刑の部屋」(七月一二日)、「プウさん」「億万長者」(七月一七日)、「満員電車」「足にさわった女」(七月一九日)、「東北の神武(ススム)」「東京オリンピック」(七月二四日)、「太平洋一人ぼっち」「おとうと」(七月二六日)、「ぼんち」



「銭の踊り」(七月二七日)、「私は二歳」「我が輩は猫である」(七月三一日)、「心」「破戒」(八月二日)、「どら平太」「股旅」(八月三日)、「細雪」(八月七、八、九、十日)。(アートギャラリー・オンタリオジャックマン・ホール、問い合わせは(416)968-film, www.bell.ca/filmfest)

★ライオン・キング



誘われたので、重い腰を上げて遂に観に行つたミュージカル「ライオンキング」(On the Stage! Just Spectacle! ディズニートナショナル・シオグラフィックが混ざつて沸騰したような舞台である。アフリカの草原に棲む動物の衣装デザインへのアダブションが実に巧みで新鮮だ。出演者はローカルの人達が精いっぱい好演して好感が持てた。単純なストーリーをカバーするのが、五分ごとに变化する舞台のスペクタクル。休憩をはさんで三時間余り、圧倒されて、見疲れがしてスタンディング・オベーションにも立ち上がれなかった。「パールハーバー」、「ムーラン・ルージユ」といい(こちらは映画だが)このところ見るのに体力がいる見世物が多い。

和食器も豊富に取り揃えました。お気軽にショールームへお出かけください...



Noritake
CANADA LIMITED

90 NUGGET AVENUE, AGINCOURT, ONTARIO, CANADA M1S 3A7
TEL: (416) 291-2946 FAX: (416) 292-0239

一人の白人と

一人の黒人が

踊ったタンゴ



原 聡
在トロント総領事

ネルソン・マンデラとデ・クラーク
南アフリカ共和国の民主化

◇国際選挙監視員の一人として

一九九四年四月下旬のその日は、南アフリカを代表するような快晴に晴れ上がった。今日から数日間、選挙などしたこともない黒人たちにとって始めての、一人一票の民主選挙が始まった。私は、国際選挙監視員の一人として投票所を巡回した。

白人住民が中心の都市部では、学

校や公民館が投票所となった。いずれも長い行列だった。ただ、これまでと大きな違いは、これらの行列はいずれも白人、黒人、混血、アジア人など各種が入り混じっていることだった。そして驚くべきことに、これまで見られなかったような入り混じった行列であるにも拘わらず、いずれの行列も至って平穏だった。

黒人が住むいわゆる黒人居住区(タ

ウンシップ)では、投票所の多くは仮設テントだった。これらの投票所では、都市部よりもはるかに長い行列ができていた。炎天下といつてよいほどの暑さになりつつあった。行列を作っている黒人たちのTシャツやランニングシャツは汗に濡れていた。「マスター、あとの位かね?」すり切れたTシャツの黒人が尋ねた。「初めての選挙で手違いも起こっているようだ。もう暫くだと思おうかね。」私は答えた。

初めて選挙を行うのは、何も投票者だけではなかった。選挙管理委員にとつても初めての経験だった。投票用紙の準備、投票箱の管理、有権者リストの整理、有権者であるかどうかの確認などなど、なすべきことは多かつた。しかしこれらのことを理解して、取り仕切ることができる人たちの数は限られていた。投票の順番が来るまでには五分五〜六時間はかかると思われた。

おそらく、私に尋ねたTシャツの黒人も、その他大勢の黒人も薄々は感じていたに違いない。しかし、皆陽気だった。皆、我慢強かった。否、皆、知っていた。人生で始めて投ずることとなる自分の一票が、南アの新政権を築くことになることを、白人政権から、黒人政権へと移行することになることを、だからだろう、おしゃべりしたり、踊ったり、歌ったりしながら、自分の順番が来るまで皆じつと待っていた。そこには平和があった。

◇対立から妥協、暫定憲法へ

この一人一票の選挙の二週間前、その日も新聞一面トップは三十数名に及ぶ黒人が殺された記事が飾っていた。少なくともこの数年間、一晩の内に数十名の黒人が政治的対立により殺されたというニュースはちつとも珍しいことではなかった。特に、選挙前の数ヶ月間は、暴力殺人事件が報道されない日はないほどだった。本当に選挙自体が行われるのか、誰にも確信は持てない状況だった。

必ずしも黒人は白人に殺されたのではない。もちろん、白人が黒人を殺したとか、黒人が白人を殺したといった事件もあった。しかし、ほとんどの黒人が死に至ることとなった暴力衝突事件は、黒人政治グループ間で起こっていた。マンデラ議長率いるANC(アフリカ国民議会)と、ブテレジ党首率いるインカタ自由党は対立しており、それぞれの陣営の間で相互に暴力の応酬を繰り返していた。長い対立が生み出してきた殺し合い、傷つけ合いが、恨み、憎しみ、怨念を醸成していた。ブテレジは、ナタール州のズルー族を率いるリーダーだった。白人政権と連立してでもズルー族の政治力・経済力の保持に意を用いていた。彼にとつて、世界中で人気のマンデラはライバルだった。南ア有権者人口の六割を越す支持者を有するANC(アフリカ国

民議会)に比べると、ナタール州の地域的政党であるインカタ自由党は支持者数も一割ほどしかなかった。まさにその故に、総選挙後当分の間導入されることとなる暫定憲法において如何に有利な立場を確保しておくかは、インカタにとって喫緊の課題だった。このような背景から、プテレジは、暫定政権の構成に関するインカタの要求が受け入れられない限り、総選挙には参加しないとの立場をとり続けた。

他方、ANCは自己の政治力の強さを十分知悉しており、白人に対しても、また、インカタに対しても、かなり強硬な交渉ポジションを維持していた。

連日の数十人に及ぶ死亡者報道の背景には、このような政党、政治家たちの政治的思惑があった。

それが、選挙の一週間前になって突然、プテレジは暫定憲法案の正式受け入れを表明した。妥協を決定したのだった。どうしても突き崩せないのではないかと懸念されていた壁が取り除かれた。選挙は急速、一週間後に予定されていた総選挙の投票用紙の刷り直しに入った。混乱が予想された。しかし、喜ばしい方向へ向けての混乱だった。

◇「民主主義」とは一人一票の政治

私は、民主主義について学んできたつもりでいた。日本の大学で、またイギ

リスの大学で民主主義とは何かにつき、本も読み、レポートも書いた。民主主義とは多数決による政治体制であるとか、衆愚政治であるとか、民主主義とは政治的圧力団体による政治システムであるとか、いろんな議論があった。自分としてはそれなりに民主主義を理解したつもりでいた。

しかし、これらは机上の議論だった。の、それが一人一票の政治制度である。「民主主義」と呼称されるものである。

人々の心を和やかにし、健やかな精神の発達を育み、そして、繁栄に向けて国民の努力を結集させるためには、皆が受け入れ、安心できる政治制度が必要である。

ローマ時代にカエサル(シーザー)が



南アの選挙前夜の政治的混乱・暴力と、選挙当日の投票所での人々の和やかな雰囲気との対比は強烈だった。

民主主義を見た、と思った。それまでの殺伐とした殺し合い、悔り合い、恨み合いの世界から、自分の一票で自分の支持する政権を選ぶんだ、という自信と確信、そして安心の世界への変化を見た。この変化を可能にしたも

た政治システムであると認識されるに至っていると見えよう。

南アは長い間、政治・社会的に極めて差別的な制度を築いてきた。これを変えるには大きな困難を伴った。そのような困難の一つは、白人たちに唐げられ、また仲間内ではみ合っていた黒人たちの荒んだ心、精神の問題にどう対処するかであったといえよう。

一人一票の民主選挙は、民主主義の意義、効用を遺憾なく発揮した一大政治イベントであった。これを目の当たりにした私は、心の感動を抑えることができなかった。

◇デ・クラークの決断

二七年間を政治犯として収容所口ベン島で過ごしたマンデラは、九〇年釈放された。前年国民党を率いることとなったデ・クラーク大統領による決断の結果だった。アパルトヘイト政策からの決別の第一歩だった。デ・クラークは、南アを国際社会に戻していくために右政策を変えていく必要性を認識していた。しかし、急激な変革は混乱を招くし、白人社会の支持も得られない。デ・クラークは、マンデラであれば、白人の協力も得ながらの穏やかな変革を理解し、かつこのようなやり方について黒人社会、特にANCを抑えかつ引張って行くことができるかと説きだと言われる。

九〇年から反アバルトヘイト組織の合法化、人種差別関係法の撤廃が進められる一方、白人の国民党政府と、黒人のANCやインカタ自由党などの関係政党との間の交渉が始まった。民主化達成後の五年間を律することとなる暫定憲法の条文を定めるための、激しい、駆け引きに満ちた交渉であった。私も、その交渉の公開部分に傍聴出席したことがある。皆一流の政治家だった。押しどころ、引きどころをわきまえつつ、ぎりぎりの利益を達成せんと努めていた。

その結果、一人一票の民主的総選挙を実施し、その後は五年間国民統一政府を結成し、主要な政党全てが参加することなどが記された暫定憲法が採択された。これを受けての九四年四月の総選挙だった。

選挙では、六割以上を獲得したANCの圧勝だった。国民党も二〇%、インカタ自由党も一〇%ほどを獲得し、五月にはこれら三大政党が参画する連立政権が発足した。ANCのマンデラが大統領に、そして第一副大統領にはANCのムベキが、第二副大統領には国民党党首のデ・ラークが就任した。

◇デ・クラークとマンデラ

このような革命的とも言える政治的大変革はどのようにして可能になったのだら

うか。私は、二人の傑出した人物の存在無くして、これが可能になったとは考えられない。その人物とは、言わずと知れた、デ・クラークとマンデラである。

あらゆる政治的決断、変革には表と裏がある。この南アの場合、表とはもちろん民主主義、市場経済、平等といった概念であろう。裏とは、要するに利害、利権、既得権益などである。この表と裏のバランスを極めて巧妙に計ることができる人が、おそらく優れた政治家たる素質を持つていられるのだらう。

デ・クラークは、人種差別政策を撤廃し、民主的制度を南アにもたらすことを表、すなわち大義名分とした。しかし、裏は、世界の中で経済的にも政治的にも行き詰まった南アという国で、白人が自分達の利益を大きく損ねることなく存続しつづけることができるようにすることだったと思われる。白人といつても一枚岩ではない。当然のことながら、極右と呼ばれるアバルトヘイト政策信奉者達はなお多数いた。他方、もはやこの政策を維持することは無理で、何らかの方法で妥協を図らざるを得ないと考える現実主義者たちも増えてきた。デ・クラークは後者を支持基盤としつつ、中間的浮動層に働きかけた。その際の言葉は、マンデラの下でのANCとは共存できる。白人の権益もそれなりに守られる、というも

のだったといえよう。

マンデラは、当初デ・クラークの提案を受けたとき、大いに悩んだとされる。これまで白人の虐待のもとで亡くなった同土や友人、更には無名の黒人連の姿が脳裏をよぎったに違いない。他方、¹⁹年間の刑務所生活にも拘わらず、現実を直視する目と能力をなお備えていた。マンデラは、おそらく知っていたのだらう。黒人のみの力で黒人国家の建設を達成することは容易ではないことを、マンデラは、デ・クラークの提案に同意し、ANCの取りまとめに着手したのである。ANCも一枚岩ではなかった。極めてラディカルな極左ともいえる連中も多かった。マンデラの妻、ウィニー・マンデラもその一人である。マンデラにとつての表は、黒人政権の樹立であった。裏は、これを達成するためにとどのくらの血を流さないうで済むか、出来上がった南ア政府をどう運営していくか、黒人にその能力を期待できるか、などであつたのだらう。

デ・クラークとマンデラは、二人で実に美しいタンゴを踊った。傑出した政治家二人だった。押し、そして引いた。私は、今でも忘れることができない。新しい国民統一政権ができ、デ・クラークはそこでANCのポジションに過ぎない第二副大統領のポストへの就任を甘受したことを。そして、デ・クラークは、マンデラやムベキなど連立政権の実力を完全に掌握しているANCの幹

部から、日々の政治の中では全く無視され、重要な協議にはほとんど与からない中で、それからの約二年間という長い期間、このポストに留まったことを。これらのことは、デ・クラークという以前ANCの地位にいた者にとつてどれほど恥辱に満ちたものであつたことだらうか。

しかし、デ・クラークはこの汚辱に耐えた。なぜか。私は、その理由はただひとつ、自分の下での民主化についてきてくれた白人達に対して、「自分も耐えている。皆も耐えてくれ。」と言いたかつたから、そして、自分がこのポストを去れば、マンデラとともに踊ってきたタンゴは未完成のままに崩れることを知っていたからだと思う。果たして他の国でこのような屈辱に耐える用意のある政治家を見出せるだらうか。偉大な人物である。

◇「もう少し、待ってくれ」

マンデラは、心の清い人である。清廉潔白という言葉はこの人のためにあるのではないかと思わせる。心の温かい人でもある。濃厚慈悲という言葉は彼のためにあるのではないだらうか。そこから、彼のカリスマ性が生まれている。黒人の多くが、マンデラには自分達の生活、そして時には生命さえも任せられると感じている。女性問題について、糟糠の妻のもとを去ってウィニーと再婚し

た経歴部分を除けば、私は彼のような素晴らしい人を尊敬するし、政治家として求めたい。

写真は、マンデラ大統領が南アの元首として日本への公式訪問に出発する際、空港で見送ったときのものである。暖かい手の温もりが忘れられない。

南アの民主化を達成したマンデラにとって、最大の課題は経済開発、それも貧しい黒人の生活水準の引き上げであった。しかし、経済発展は一朝一夕には達成できない。また、黒人だけで達成しようとした近隣諸国における試みは、多くの場合失敗に終わっていた。マンデラは経済開発の大切さを熟知していた。だからこそ白人との妥協も必要と考えた。

そのマンデラが、「マンデラが大統領になったら、明日にでも洗濯機と冷蔵庫とテレビがもらえるんだ。」とって投票してくれた多くの黒人支持者達にどう対応するかは、至難の業だった。黒人居住区の生活は、正に貧民窟である。私は、日本政府による「草の根無償援助」の実施のために、多くの黒人タウンシップを何度も訪れ、保育所、裁縫養成所、学校、クリニックなど、彼らの生活向上のための日本政府からの支援を具体化していた。彼らの生活が向上するには今後何年を要することになるのかは、誰にも想像もできないほど途方もない目標だと実感していた。その支持者達に対して、マンデラは

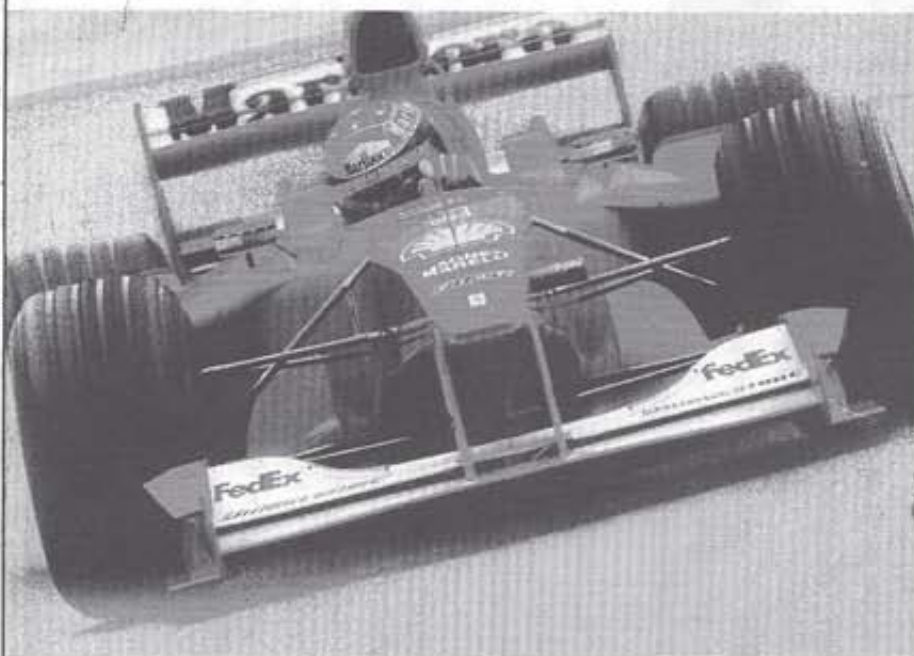
言った。「もう少ししばらく待ってくれ。そうすれば豊かになっていくのだから。」そして、黒人達はこのマンデラを信じた。

そのマンデラは、予定どおり五年間の大統領職を終え、一九九九年公職から引退した。その後を継いだのは、ム

ベキ副大統領であった。経済的繁栄の達成は、政治的自由の達成よりはるかに長い仕事である。貧しい黒人の生活はそう簡単には向上しないだろう。南アの困難は、まだまだ続くだろう。額に汗することなく簡単に豊かになろうとする泥棒や強盗の輩は、当分後を絶たないだろう。

でも、信じてい。南アの白人達は、あの困難な政治的変革を進めるために、デ・クラークと言う政治家が屈辱に耐えたことを覚えてい。そして、多くの黒人達は、マンデラという人が「もう少し待ってくれ」と言ったことを、今後とも覚えていけるだろうと。

Winning is a matter of principle.



Formula 1 champions stick to their principles and have depended on Bridgestone tires to help them keep a grip on victory for the past three years. So it's no surprise that they will rely on Bridgestone again this year.

The principles that help drivers win in Formula 1 are also applied to our Potenza line of performance tires.

We salute all the drivers competing throughout the season. Good luck to all the Bridgestone teams: Ferrari, McLaren, Arrows, BAR, Jordan and Sauber. See you in the winner's circle!



BRIDGESTONE

『ラグラグ会』
インドネシアの歌を歌う
日本人男性の会

灼熱の日が沈む頃、
夕風に椰子の葉そよぎ、
タムリンの窓辺に響く
軽やかな歌声……
(ラグラグ会の歌より)

インドネシア人による日本語弁論コンテストが土曜日の午後サヒツドジャヤホテルで催された。
この日三時、ゴルフをあきらめた我々ラグラグ会有志約二十名、早々と控え室に集合した。誰が言うでもなく今日歌う曲の練習が始まる。

前回の日本大使歓迎パーティーでの失敗を取り戻し(聴衆皆が日本人であったため評判は決して悪くなかったが、我々は不満だった。)日ごろの練習成果をご披露したいとの全員の希望である。そしているうちに会場では日本語のコンテストが終わり、我々の時間となった。



全員がお揃いの制服(インドネシアのパティック(ろうけつ染め)を着て、会場に向かう。伴奏はいつも好意で我々のために演奏して下さるインドネシア人のプロ演奏家、クス先生。指揮者はこれまた、軽音楽のプロ、我がラグラグ会のメンパーでもある中村先生。前回と比べて皆意気込みが違う。
中村さんから最後に「万一私の指揮が違っても、違った指揮の通り

に歌って下さい」の駄目押しが入る。「そんなこと判ってますがな。大体先生、万一言わはるけどいつも本番間違えてるとチャウ？」の声が大手繊維会社社長の伊藤さんから掛かり、和やかな笑いが起こる。さて、舞台整列。
中村さんが「会場の皆さんも一緒に歌って下さいね。大きな声で」と笑顔と大きな身振りで呼びかける。

最初はインドネシアアサカ(インドネシアの富)。会場から早くも拍手が沸く。インドネシアの聴衆は常に協力的だ。
次いで「やしの茂る島」、これもインドネシア語である。それから「オイナニケケ」、これは地方の言葉で実はインドネシア語ではない。

三曲目が終わると中村さんは「どうも会場の皆さんの声が余り聞こえないな。それじゃ舞台に出てもらいましょう。ラグラグの皆さん、連れて来て下さい。」

「それ来た」と我々はバラバラ舞台から降りて、会場のインドネシア人の聴衆に舞台上がるよう促す。これが又皆、乗ってくれるんで

スナー。日本人の場合には「何故私が舞台に行かなくやいけないのよ」とゴネ出し、説得に時間が掛かりムードがしらけることが多いが、インドネシア人は応じてくれる(これはアメリカ人も同じだが)。舞台は一杯となる。舞台が一杯で戻れないので会場で歌うことになる。

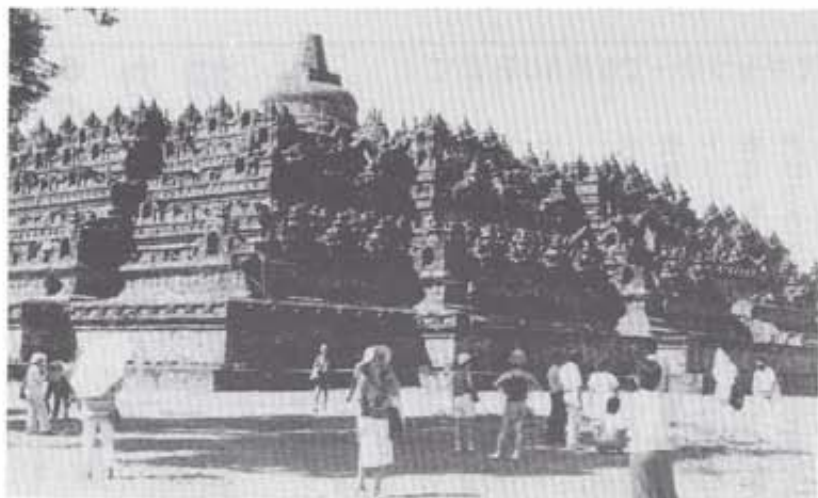
次は五輪真弓の「心の友」。何故かこの国の人には五輪真弓が大好きで、特に日本では余り歌われなかつた「心の友」に人気がある。誰もが歌えるのだ。しかも曲本来のポップ調で。(我々は練習時いつも先生に「演歌じゃないポップで歌ってください」と注意されるのだが。)

こうして大合唱の「心の友」が終わると、中村さんが「会場の皆さん、今度は立って歌いましょう」

全員が歌う曲は「Tanah Airku=我が祖国」である。

歌詞の日本語の意味は次の通り、本当に良い曲なのだ。

1. 私は祖国を忘れません。生きて
いる限り、心の中から祖国が失
われることはないのです。
遠く異郷でも、それは私の心か



左はボルブドールの遺跡、下はパティックの制作

ら消えることはありません。私の愛する祖国、祖国こそ大切なものなのです。

2. 私は多くの国々を旅しました。どこもみんな名高く美しい国ばかりでした。

でも、私が心の安らぎを覚えるのは、私の村、私の家なのです。決して忘れることのない祖国、生きていく限り、私の心には祖国があるのです。

この歌を歌っていると、インドネ

シア人は勿論、我々も胸が熱くなる。

舞台と会場が一体となったのを見て、中村さん「さて勿論アンコールでね。ナニが良いですか」。インドネシア人の中から「ハロー、ハロー、バンドン」の声が挙がり、やがて会場が一つになる。指揮者が途中で舞台の上にいる全員に合図して歌をストップさせた。会場の声が驚くほど大きくなっている。最後にこの曲を全員でもう一回歌い、我々の出番はお開きになった。

インドネシアの歌を歌う日本人男性の会、ラグラグ会（*ragu ragu*）はインドネシア語で歌のこと）に私は入つてからもう二年になる。練習日は水曜の夜。厳密には合唱する会ではない、要はインドネシアの歌を歌う会なのである。出席者一人一人が自分の歌いたい歌を歌い、中村先生が指導することから始まる。その後その月の課題曲を皆で練習、最後に全員起立してインドネシア国歌とラグラグ会の歌を歌い終わる。（その後は階下の日本レストランでお酒、食事をしながらの話しに花が咲く。）

練習での中村先生の指導はかなり厳しい。最初は徹底的に発音を矯正される。インドネシア語の発音は易しいとされるが、我々日本人に



は結構難しい。rとーとの区別（ほとんど英語と同じ）、nとngとの差、eとuとの差。例えば有名な「ブンガワンソロ」は正確には *Bungawan Solo* であるのだが、大部分の日本人は *Bungawan Solo* と発音し、その発音に違いがあることすら気づかないのである。

次にある程度の段階（大体自宅でのテープを使つての練習を含め、百回くらい歌いこなした後くらい）に来ると、「音符通り歌っている。それじゃダメ。気持ち伝わって来ない。」との注意である。これは小学校以来受けてきた音楽教育とは全く違う。然しながら、音符が先にあったのではなく、歌が先に口ずさま

れたのであるという事実には添つたものと言えよう。特にインドネシアの歌はそうなのだ。こうして一人一人が自分の持ち歌をつくつていく。千回歌いこなすと、ようやくものになるというのが中村説。

合唱する場合の編曲はすでに日本に帰られた岩手の市川さんが熱心に引き受けてくださり、新鮮な *Ettingo* のままインターネットで送られてくる。中村さんは指揮のみに徹し、会の面倒な仕事は三十代の若手が引き受けている。年寄りは大勢おり、長くいる人も何人かいるが、*seniority* 優位は全くない。むしろ、袋詰めなどの単純作業は若手、後輩の指揮の下、地位に関係なく年寄りが率先して実行する。会長もいないし、正式の役職もない。

転勤で帰国する人が常時出てくる宿命から、新陳代謝が不可欠なのだ。

タナカ首相時代の反日運動に投じジャカルタにいた日本人有志が集まり、エコノミックアニマルのみの生活を反省して作ったのがこのラグラグ会である。

会が出来て、今年は二十五年になる。

（インドネシア中央銀行、輸出銀行顧問）

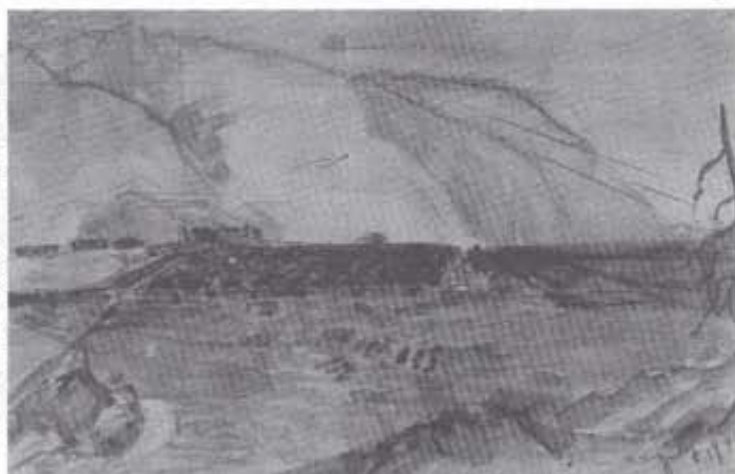
●タシメ ●
カズオ・ナカムラ
初期作品展
山本 博

カズオ・ナカムラの展覧会がトロント日系文化会館内の現代ギャラリーで四月二十一日より六月三十日まで開かれている。同氏の名前は日系アーティストと話をすると必ず格別の響きを持った「巨人」といった感じで語られる。

オタワ国立美術館やMCO(オンタリオ州立美術館)にその作品が所蔵されている。カナダのメインストリームで活躍する二世の画家である。私自身、数度お見かけしただけであるが、物静かな学者のようない「孤高の人」といった印象で、近作の画面一杯に数字を並べた方程式のような超グラフィズムの抽象作品群が頭に残っていて、難解で近寄り難いものを感じていた。

しかし、今回の現代ギャラリーでの「タシメ カズオ・ナカムラ」の初期作品展を見て、すっかり印象が変わってしまった。

BC州バンクーバーから百マイルほど東に行った所にあるホープという小さい町の近くにあったタシメ収容所(カナダ最大の収容所だっ



一九四四年七月 水彩画 26cm x 10.5cm

たてで過ごした日系二世の一人であるカズオ・ナカムラの青年期の作品の多くはタシメ収容所の風景やオンタリオの風景画でほとんどの作品は小品であるが、穏やかな筆致で描かれた水彩画から直ちに画家としての才能と感受性が感じられ、画面に引き込まれるように畏敬の念を持って鑑賞した。

展覧会カタログ序文のブライスカンバラの記述によるとカズオ・ナカムラは一九二六年十月十三日、BC州バンクーバーに生まれる。十三歳の頃からアマチュア画家だった

叔父が日本から取り寄せた美術雑誌のページ、フランス印象派のノートルダム寺院の絵や二十世紀の日本の画家からの漠然とした影響を受け、イートン百貨店やシアーズの通信販売のカタログで取り寄せた画材で絵を描き始めた。

一九四二年、タシメ収容所に移動、昼間は原木の切り出し等の労働、夜は高校の授業を受けながら暇を見つけて絵を描いた。一九四四年、ハミルトンに再移住した彼は働きながらテクニカル高校で製図などを学ぶ。一九四七年、トロントに移り一年間働いた後、商業美術を学ぶが、一九五一年から純粋美術に打ち込み、一九五三年、二十八歳の時、抽象絵画をカナダ画壇の主流に持ち込もうとし、トロントで最初に結成されたモダニズムのグループ「ペインターズ・イレブン」の創立メンバーに加わり活躍した。今では存命するメンバー二名のうちの一人である。

今回の展示では初期の作品を中心に、彼の日系カナダ人としての体験がその後の作品や芸術家としての考え方に影響を与えたかを探るものである。

バンクーバー時代の「最初の霜」「いちご畑」をはじめ、タシメ収容所での「タシメの門」「夕暮れのタシ

メ」、収容所の家屋の立ち並ぶ夜のタシメから眺める月が描かれている「四四年三月十八日」。「ハミルトン時代の「ハミルトン駅」、トロント定住後の「カーニバル」「果樹」、その後の自然を見つめることによつて得られたインスピレーションで構築された「孤独」、最近作につながる「数の構造」など水彩、油彩、インクドローイングの作品など計四十点が展示されている。

初期の作品には夕暮れや夜の作品が多いのだが、暗い時代を反映しているという見方もあるが、作者は闇の恐ろしさや不気味さ、あるいは強制収容所への怒りを直接表現したのでなく、いずれの絵も不安な時代のひっそりとした静けさの中の平穏な生活の一瞬を描いたものであると私は思う。

最近のカズオ・ナカムラの作品は数字や図式で画面を構成し、あらゆる連想やイリュージョンを排することによつて逆に広大な宇宙空間や感覚を浮かび上がらせようとす哲学的な抽象作品のシリーズを制作している。カズオ・ナカムラはカナダのモダニズム運動の軌跡を知る人であると同時に、日系カナダ人史の芸術家としての証人でもあり、その作品は貴重な「時代の記録」である。(文中敬称略)

(日本画家)

「春まつり」というイベントが毎年新
日系文化会館で開催される。私もそれ
に恥ずかしながら踊り手として参加し
た。初日の二時のショーだった。

館長さんとか総領事とかのスピーチ
もあって、(か、どうか知らないけれど)
ケッコー満員の観客に埋め尽くされ：
と云つても、百人も入れるかどうかのオ

二時のショーはそんなで、それなりに
気を入れて踊れた。三時半のショーは、
アレレ、お客さんごへ散つてしまったの
つて感じ。四時半のまたの私めのショー
は観客なし！前一行に座っている人た
ちは皆、身内の者だけでトホホの状態
であった。

「春まつり」と言うからには、お祭りつ



踊りだ、

文句あつかいの巻

杉本花粉

「ディトリアム(柱がジャマー!)」なん
だから、大したこともないのだが、そん
な中で「さんさくずし」を踊った。

スピーチの間、袖で待機していたの
だが、したたかさには年季の入ったお
ばん(私のこと)は、心臓バクバクであつ
た。カーネギーホールでもあるまい
に、笑つてしまう。

ぼくしなればならないと思うのに、
まだ日も暮れないうちから館内ガラガ
ラとは、どういう訳なんだ。思うに会
館は入場料なんてとつてはいかんのです
よ。紅白歌合戦やバラエティーショーと
は違い、今回は踊りと太鼓だけで大
したショーではなく、廊下にはおなじみ
のブースが少々並んだだけで、どうして

大盛況になんかなるのですか。おひな
様や日本文化紹介を見せるための「春
まつり」は夕夕にして、色んな人達、人
種に足を運ばせるのを第一にしなくて
はと単純に思うのです。新会館の宣伝
のためにも損して元とれ式にした方が
よいと思う。なんだか、年々入るだけの
金額がアップしているのはなんだ、なん
だ。なあって、運営メンバーやら経営
陣の方々に聞かれたら、大反撃喰らつ
てちじこまつてしまいそうだけど。

その点、去年のクラフトショーは入場
料無しだったからよろしい。フラツと行
つてみたい気になる。だいぶ話が逸れ
た。

しかし何がどうしたというのか、芸
術的分野には(にも)とんと貧しい田舎
者の私が、日本の代表文化、それも最
も格調高い(ホント?)日本舞踊をや
るとは、日本の正しい格調高い家元さ
んなんかが御覧になつたら、目の玉飛
び出し、腰抜かすんじゃないかと思う
のだけど、ホント。

遡ることたつた五ヶ月前、娘が踊り
を毎週習つていて、その間ポケッツと待
っているのもなんだから、ついでというか
エクササイズのもつりでも、じゃあやつて
みようというふとどきな理由でやり始
めたのがそもその始まり。これがまた
何だかよく分からないけど、はまつてし
まったのである。手と足と首をきちんと

正しい角度に決め、それをまた忘れな
いように感覚で覚えるという作業の繰
り返しなんだけれど、おもしろい。

人間成せばなるもので、ポキポキの
老体もしとやかに(?)品だつて作れて
しまうのだ。オソロシイことに。

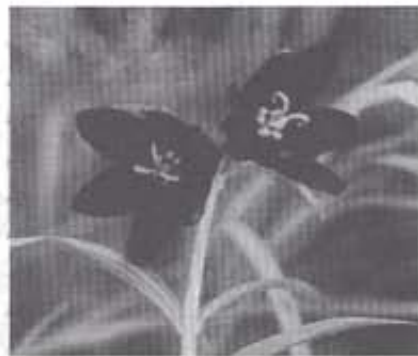
お師匠さんは、日系三世の若いお嬢
さんで、これまた正しい日本の家元さ
んがお聞きになつたら、なんじゃらホイ
なんでしようけど、ひつそりとしかも根
強く脈々と日本文化は継承されている
のだ。当然レッスンは英語である。日本
の曲だけれど。曲の歌詞内容など解
らないだろうに、いったん踊り出すとツ
ボをきちんと押さえていて、惚れ惚れ
するほど色っぽく、チャキチャキの新移
住者の新人はただただ見とれるばかり
。まさしく流れている血は日本人な
のである。立派な看板持ちのお師匠さ
んはいらないのだ。(そりや、いた方がい
いに決まつてるけど。) そうすれば、
明日から始めたい人もお気楽にやれる
のである。月謝もその辺で食べる太巻
き一本分の値段で済む。ステージで着
る着物、帯、かんざしも無料で貸して
もらう。なのに、メンバーが少ない。
世間(この辺)では、まだまだ日本舞
踊というものは、恐れ多い芸事のように
思われているらしい。イヤ、それとも
ここでは、習う気になれないのかも知れ
ない。ウウウ

極北の短い夏

生命のいとなみの爆発の中で

「私のアラスカ物語」

辻本明子



黒ゆりの花

五月になるとカナダグースをはじめ、さまざまな渡り鳥がやって来ます。鳥たちは長旅の疲れも見せず、夜中まで忙しく鳴きわたり、あわただしく巢作りを始め、卵を生みます。ひな達は短い夏の間にかくましく育たなければなりません。アラスカに残されては厳しい冬を生き抜くことは出来ないのですから。

◇鮭

入江や川には鮭がひしめきあつて遡つて来ます。その鮭を追つてシャチ、ベルーガが姿を現し、岸辺には熊や人が待ちかまえて鮭をとらえます。川いつぱいになって遡つた鮭は産卵し、そして死んでいきます。

この頃になると太陽は冬の無沙汰を詫びるかのように、日一日と勢いを増し、ついには沈むことも忘れて天空で輝き続けます。大地を厚く覆っていた氷や雪もまたたかく間に解け、見渡す限り柔らかな緑に覆われます。長かった極北の冬が終わり、遂に夏が始まったのです。

◇黒ゆり

アラスカには野生の黒ゆりが咲くと聞いて私は楽しみにしていました。黒ゆりとはいったいどのような花なのでしょう。

「黒ゆりは恋の花、悪の花」と歌われています。ねねと流君の女の確

執の小道具にもなった花なのですから、あやしくも妖艶な花なのだろうと想像していました。ところが私の予想は大きく外れ、それは可憐で清楚な花でした。小指ほどの大きさの花は、チョコレートクリームという英名どりの焦茶色をしており、黄緑色のおしべと鮮やかな対称をなしています。どこまでも大地を覆いつくすように群生した黒ゆりは、恥じらうように咲いており、風に吹かれて揺れるたびに真っ黒なベルベットのようにはっぴっています。その黒ゆりをアクセントに色とりどりの花がアラスカの大地いっぱいには咲き乱れます。ルピナス・風露・忘れな草・コロンバイン・ベルフラワー・アーケティックローズ・シューティングスター等々、無数の野の花は短い夏を分け合うかのように芽を出し、花開き、種をつけます。

◇ファイアーウイード

そして八月に入ると、ファイアーウイードの濃いピンク色に埋めつくされます。この花は山火事後、まっさきに芽を出すことからこの名前がつけられたそうです。房状の花は下から咲き始め、一番上の花が開いた六週間後に初雪が降るといわれています。秋になると葉や茎が真っ赤に紅葉し、山肌は夕陽に染まったように赤くなります。この鮮

やかで印象的な花は、夏の終わりを告げる花として、アラスカの人々に冷たく扱われています。ファイアーウイードが咲き始めると、人々はもう咲き出したと眉をひそめ合っています。

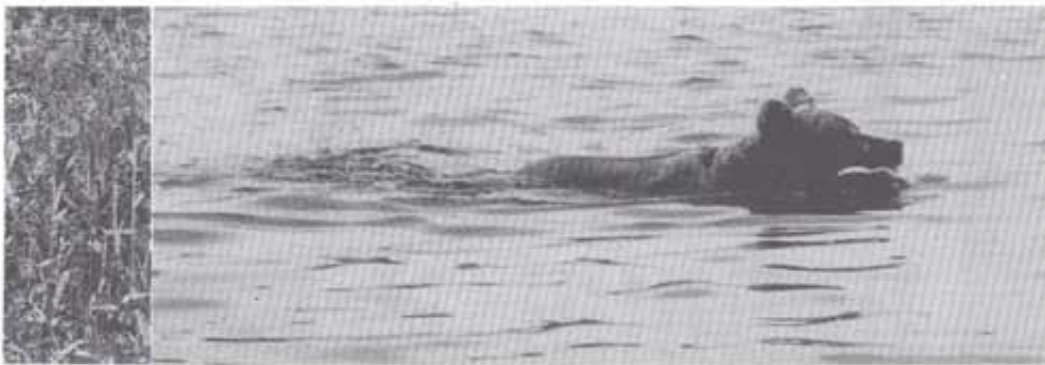
◇氷

私は以前、アラスカは一年中厚い氷に閉ざされた暗い極寒の地で、生命など寄せ付けない無彩色の世界だと思っていました。ところが、そこは生命の輝きに溢れた所でした。

あの長く厳しい冬の間も厚い氷の下で、これほど多くの野生の命が息を潜めて生き延びていたのだと思うと胸をつかれる思いがします。春になると、山や森、草原や川に、音を立てて生命が息を吹き返し、新しい生命を送り出します。短い夏を野生の命は凝縮して燃え上がるのです。そしてある者は新しい命を生み、ある者は死んでいきます。しかし、死ぬことによつて、他者の生命の灯をつなぎ、又他者の死を取り込むことで生き延びるのです。死は生へと姿を変えるのです。

私は早速フィルムを見るように眼前にくりひろげられる自然の生命のいとなみの爆発するような極彩色の世界に圧倒されます。そしてこれ程多くの野生の命を支え





川で鮭を獲る熊

ているアラスカの自然の限らない広がりと、その力強さに畏敬の念すら覚えます。

◇風

私は野の花が咲き乱れるターナゲンバスの小高い丘の上に登ってみました。見わたす限りどこまでも広がるアラスカの大地を色とりどりの野の花が埋めつくしています。遠くの山々の頂には氷河が青白く光っています。そのあり得ない美しさに包まれ、私は自分が宇宙の生命の大きな輪のひとつなのだと思えました。それは観念や机上の空論ではなく、疑いようもない事実でした。アラスカの風は、何千、何万年の時を超えて、氷河をすべり落ち、野の花々を揺らしながら吹いています。

私は深呼吸をして、両手いっぱい

にその風を受け止めました。
*筆者の辻本明子さんは夫君の辻本吉則元トロント首席領事と九〇年十二月から九四年五月までトロントに駐在の後、アンカレジ総領事に就任した夫君と共に今年三月までアラスカに在住されました。今号から四回にわたりカナダの北西の隣国アラスカの四季の暮らしについて奇稿していただきます。

詩・二題

姫田和美

おもいかばん

いつの間にかどつしり重たくなったあなたのかばん。そんなに、おもいかばんすぎなの？ かばんの、なかみ整理したら、もつと軽くなるのにわかつててもわざとしないんでしょ？

もし、神様があなたに同情して、あなたにもつ少し減らしたらあなたは、不安でしかたなくて、またかばんのなかみ拾いあつめて、いっぱいにしちゃうんだろうね。

いいなり

パパはママのいいなり。
ママは息子のケンのいいなり。

ケンは彼女のテデイのいいなり。
テデイはテデイのペット犬のクロのいいなり。

犬のクロはテデイのパパのいいなり。
テデイのパパは上司のいいなり。

そして、みんなみんな誰かのいいなり。



"The Leather that Feels Like Silk" Chakō

April 18, 2001
Westin Harbour Castle Hotel



瀬戸山久子
レザーファッションショーから



昨年のセンセーショナルなデビューに続く第二回レザー・ファッションショー。レザーの可能性をどんどん広げていく瀬戸山さん(下)の仕事はファッション界で注目されています。
右はえんじ色のおしゃれな手編みニット・レザー、シルクの糸のように柔らかく、マシンウオッシュアップル。左上はハイウエストにポイントを置いたグレイの格子のコートドレス。
下四点はレザーとキモノをマッチさせた豪華なドレス。右は金糸・銀糸の刺



繡模様の紗のキモノのフリルの動きが優雅なアオザイを思わせるドレス。ある黒人歌手のヨーロッパ公演に頼まれてデザインしたもの。左は日本の代表的紋様「のしめ」を三枚のドレスに大胆にダイナミックにデザインしたもの。



(写真はジェームス・モト・エンタープライズ提供)

「名探偵

VS

名刑事」



月華麗

前回までは女性の名前に片寄り
がちだったので、今回は男性の方に
も目を向けてみよう。浅見光彦シリ
ーズの中で男名を探そうとすると、
主要登場人物は犯人か被害者にな
つてしまう。それでは最初から「不運
で犯罪に関係あり」との印象が拭え
ないだろう。そこで光彦に絡む刑事
さんの名前になるのだが、ほとんど
全部に警部、部長などの役職名が
付きフルネームが判らない。例えば
実直な刑事で魅力的な人物なので
取り上げたいのだが「野上警部補」
ではどうしようもない（鳥羽伝説殺
人事件）「梶の浦殺人事件」。しか
し他のシリーズで主役を張る実力の
ある名刑事にはフルネームが付けら
れている。

一本気で、独りでも仕事に打ち込
み、困難に直面しても何とか切り抜
けることが出来る名前だ。それに案
外ひとに馴染むし協調性もあり孤
立することがないのは、彼の名も光
彦と同様に十五画で、やはり内田氏
の分身であるからだ。しかしフルネ
ーム二十八画では、いつの日にか殉
職せねば良いかと案じる次第であ
る。第一作目で彼は「俳句をたしな
みスジがよい」ことになっているが、こ
の特徴はおそらく作者が主人公の
型を模索中だったためで、以後は出
てこない。こういった文学的な性格は
他の主人公たちに引き継がれて行
く。

デビュ作にもう一人だけフルネ
ームで登場する刑事がいる。竹村刑
事を助ける岡部和雄警部補で、彼
は初期の作品の主人公だが、残念な
がら光彦との共演は今のところ無い
ようだ。「和雄」は長男名で落ち着い
た思索型の性格を持ち、彼こそ俳句
の一つもひねりそうだ。フルネーム四
十三画は艶福家で異性問題の悩み
が生じる場合もある。小説の中で彼
は家族に関しては語りたがらない。
この名前には作者との共通項はない
が、実在の人物から名前を借用なさ
つたらしい。はたして現実には長男でい
らっしゃるが、当然の事ながら艶聞
に就いての言及はない。

以上三人のうちで最も直感力に
優れる名は、謂わずと知れた浅見光
彦で、彼の直感は靈感に近いものと
いえるだろう。

今回もまた脱線をお許し願いま
す。週刊朝日の「デキゴトロジー」に
面白い話があった。この欄は実話と
いうふれこみである。ある占い好きの
社長が「名前の画数がいいから」とい
う理由でY子さんを採用した。当の
Y子さんこそが占いオタク。「方位
がよく社名の画数が良い」と入社し
た。そして社長に注意されるたびに
社内コンピューターを使い、占いホ
ームページでその日の運勢を確かめ
「今日の社長との相性は……と仕事
ならぬ占いに熱中し、とうとうクビ
になったが、社長は「あなたの転職は
吉」という結果を理由にしたそう
だ。

占いをどう使うかは個人の自由
だが、振り回されては主客転倒だろ
う。名前が服を着て歩いていくわけ
でもなく、生まれた時に一生の出来
事がすべて決定しているわけでもな
い。ある占いの先生は自著の中で自
分の家に泥棒が入った日を生年月日
から証明しようとなさつていた。こう
いう思い違いには専門家でさえしば
しば陥るらしい。ともあれ、人生の
不可解に興味を持った人々の想いが
占いを発達させたとも言えるが、確
かにある種の占いのパターンには他の
追随を許さない鋭さがある。試みに
「生まれ月による性格」を順次簡単

に紹介してみよう。これも分析枝の
一本であり全体像ではないとお断り
しておくが、血液占いよりは詳細で
星座占い程度には当たるだろう。先
ずは夏月から始めます。

【六月生まれ】裏表がなく陽気で
勢いがあつて元気なのはよいが、物事
を表面的に考えやすく派手好みで
根気が欠ける。負けず嫌いで見栄っ
張りだが、言葉遣いは礼儀と社交に
適つていて、人気と金銭面に恵まれ
る。家庭内では賢沢か賢素かのどち
らかになる。

【七月生まれ】争うことが嫌いで
円満主義です。取り越し苦労が多
く迷いも多い。人柄は大人しく礼儀
正しく、出しやばることもない。物事
には研究心が旺盛で熱心なので上
達が早い。人に利用されやすいとい
ろがあります。本人は気にしてい
ない。自分らしくなくても子供には賢
沢をさせる人が多い。

【八月生まれ】才知があり弁舌さ
わやか。慎重さに欠けそそっかしく、
良く考えないで動くことがある。そ
のため大切な事で失敗することが
ある。多少、欲の深いところがある
が、人の気持ちがよく判り、人の世
話をして多くの人に好かれる人徳が
ある。

★各種占い、姓名判断をご希望の方
は先まで御連絡下さい。

6 Orser Drive, Midhurst, Ontario L0L,
IXI Fax: (705) 737-0921

トロントからクイーンズストリート
を、クルマで、あるいは路面電車
で、東へ十分ほど行くとビーチがあ
る。ビーチーズとも呼ばれる。名前
の通り砂浜が数キロ続き、波が打
ち寄せ、まさに海岸の景色。磯の香
りがしないのが不思議なくらいだ。

昔は、ここはトロントからの避暑
地で、お金持ちが夏を別荘で過
し、オンタリオ湖で泳いだりした。
その名残で、別荘風の家がまだた
くさん残っていて、独特の雰囲気
がある。残念ながら今では汚染がひ
どく、泳ぎは禁止されているが、夏
になると、水着で日焼けをする人、
ビーチバレーボール、散歩の人、
ローラーブレードなどでにぎあう。
うちには熊という名の犬がいて、
アッシュブリッジベイ公園へよく散歩
に行く。コックスウェルとレイクショ
アの南にある岬で、入り江にはヨッ
トも泊っている。朝早くだと人も少
なく、岩に波が砕ける音を耳に、湖
を見ながら歩いていると、都会にい
ることを忘れてしまう。

ビーチでは催し物も沢山ある。
子供にとっては、サンタバレードと
人気を競うイースターバレード。道
端でも演奏するジャズフェステバ
ル。ピクトリアデーの花火、ビーチ
バレーボール大会などなど。



QUEEN STREET EAST

避暑地のふんいき・ビーチ

島川大輔

夏の天気の良い日に、アイスク
リームを舐めながら、ボードウォ
ークの散歩。どこまでも続く自転車、
ローラーブレードコース。アッシュベ
イブリッジ公園では、BBQもでき
る。恋人と、友達と、家族で、ある
いは犬を連れていかがですか。

クイーンズストリートには、洒落た
お店、レストランがいろいろある。い
つ行っても人が並んでいるステーキ
ハウスのチューリップ。中国人のオヤ
ジが焼くステーキ。味、焼き方は最
高。トロントでは、レアを頼んでも
ミディアムになることはよくあるが、
ここはそんな心配はいらない。柔ら
かくて、美味くて、値段も手ごろな
知る人ぞ知るのステーキ屋。ダウン
タウンにある、たかーくて、高級な
所と並んで、トロントでトップ5に



ランクされている。でもここはネク
タイは似合わない。ジーンズにサン
ダルがいい。ステーキを目当てに、
わざわざフォールレストヒルから来る
友達もいる。

イタリア人の奥さんが毎日焼く
自家製のケーキ、これも一流。えら
くデカイけど。こちらの人は、それ
をべろつとたいらげる。ケーキを食
べに、ミシソガから来る知り合いも
いる。日替わりのスペシャル、これが
また、安くて旨い。チキンカチャト
レ、スパゲティミートソースなどな
ど、7ドル弱。とにかく、どれをと
つても、並ぶ価値はある。

クイーンをずっと東に行くと、マ
スタージョンと言うカウボーイブ
ーツの専門店がある、所狭しと、いろ
んなブーツが並んでいる。金属のサ
ポートが入って、木のクギでできて
いる最高級ブーツは、履き心地、ま
さに最高。腰の痛みも治るといふ。

ビーチには、映画館がふたつもあ
る。西の端には、最新作を上映して
いるスタジアム席の映画館。東の端
には、週末に一回ずつ古い作品を
上映している、懐かしい骨董品の感
じの映画館がある。北の別荘地
には、こんな映画館はよくあり、映画
のある晩は町中から人が集まる。
ビーチのこの映画館には、昔の避暑
地の名残がある。(ビーチ在住)

QUEEN ST. WEST

by Tomio ニットウ



Queen St. Westはトロントで
おもしろいお宝屋が並ぶ通り
です。ご自分の足で歩いて
お楽しみください。

- 海木部さん
お元気で！
お元気で！
お元気で！
- コーナージュッポ。店の前の
花がとてお守りです。
花の曲をうたいます
- アルカンギン
インテリゲンツィア
マックス
- ROMNI WOOLS 4111の店
はよく
お宝屋
- PRAGUE DELI
お宝屋
お宝屋
- VICTOR フォー
ザン
お宝屋
- AMATO スト
お宝屋
- ビアー
STOP
お宝屋
- STEPHEN
BULGER
お宝屋
- SAN. コ
リア
お宝屋
- CB ア
サ
お宝屋

- BEVERLEY タ
バー
お宝屋
- SUBWAY
お宝屋
- コナー
ショップ
お宝屋
- FOOT
EXPRESSION
お宝屋
- REX タ
バー
お宝屋
- CITY
HALL
お宝屋
- EATON セ
ンター
お宝屋
- TOWER
レコー
ド
お宝屋
- OSGOODE HALL
お宝屋

- STEVEN
BULGER
お宝屋
- SAN. コ
リア
お宝屋
- CB ア
サ
お宝屋
- PRAGUE DELI
お宝屋
- VICTOR フォ
ーザ
ン
お宝屋
- AMATO スト
お宝屋
- ビアー
STOP
お宝屋
- STEPHEN
BULGER
お宝屋
- SAN. コ
リア
お宝屋
- CB ア
サ
お宝屋

- ROOTS
お宝屋
- RIVOLI
お宝屋
- SHOWRILL
お宝屋
- カバ
ン
お宝屋
- PAGES BOOKS
お宝屋
- BEVERLEY タ
バー
お宝屋
- SUBWAY
お宝屋
- コナー
ショップ
お宝屋
- FOOT
EXPRESSION
お宝屋
- REX タ
バー
お宝屋

- BEVERLEY タ
バー
お宝屋
- SUBWAY
お宝屋
- コナー
ショップ
お宝屋
- FOOT
EXPRESSION
お宝屋
- REX タ
バー
お宝屋
- CITY
HALL
お宝屋
- EATON セ
ンター
お宝屋
- TOWER
レコー
ド
お宝屋
- OSGOODE HALL
お宝屋



- BAY
お宝屋
- BOY'S
お宝屋
- ヒッピー
Ave.
お宝屋
- Mod robes
お宝屋
- タ
バー
お宝屋
- CIVELLO
お宝屋
- NOISE
お宝屋
- CITY
お宝屋
- POPS
お宝屋
- REPLAY
お宝屋
- シル
お宝屋
- ADONIS
お宝屋
- GET OUT
SIDE
お宝屋
- MAOZA
Ave.
お宝屋
- FX
お宝屋
- DUKES
お宝屋
- KING SOL
お宝屋
- JALAN
お宝屋
- GYRACY
お宝屋
- お宝屋

不老長寿の薬を探して その十五

壮年と中国医学 今に生きる「黄帝内経」

後藤順子 (RNCP)

若い頃から健康には自信があり、いつも元気に過ごしてきたのに、近頃疲れやすくて疲れが抜けない。記憶力が前に比べて悪くなってきた。根気がなく、イライラしやすくなった。肌に透明感がなくなり、化粧映えがしなくなってきた。医者に診てもらっても、これといって異常があるわけではないので、無理してなんとか、毎日の仕事をこなしている…。こんな、経験ありませんか。

壮年とは、働き盛りの年代と思われるますが、何歳くらいと考えればよいのでしょうか。人間はどのようにして、年老いていくのでしょうか。紀元前、四五から二二一年に中国で黄帝と侍医の岐伯の間答形式で書かれた「黄帝内経素問」の上古天真論には次の様に書かれています。

ある日、黄帝は岐伯に聞きました。

「大昔の人たちは、百歳を越えても衰えなかつたと聞いておるが、今の人間は五十歳でもう衰えておる。時世の違いかのう。または、養生しないためかのう。」

岐伯は答えます。

「大昔の人は、よく養生を知つていました。自然界の陰陽に身を託し、いろんな養生方で体を整え、節度ある食事や生活をして、過勞して病気になるほど働くようなことはしなかつたのです。だから心と体のバランスがとれて、寿命を全うできたのです。しかし、今の人は酒を水のように飲み、間違つた生活を当たり前のようにならしています。酒に酔つた勢いでセックスするなど、欲望の赴くままです。命の根元を浪費していきます。限りある生命力を保とうとせず、精を使い果たして、快樂におぼれ

て、養生の道に逆らい、結局、寿命半ばにして、老衰してしまうのです。」

「昔の聖人は、病氣になりそうなた時には心を安らかにしておれば、本来の生命力は体のバランスを取ろうとするし、精神も体を守ってくれると教えられていたのです。人々は慎ましく生活し、心も安らかですから、恐怖心に襲われることもありません。働いても健康を損ねるほどの無茶はしませんでした。人々の望みは満たされていたのです。食べられるものをおいしく食べ、着られる服をよしとして、風習を楽しみ、他人の地位を羨む事をしませんでした。飾りけもなく素朴だつたのです。欲や邪説に惑わされる事もなく、みんな物事に恐れたりしなかつたのです。百歳にして、衰えなかつたのは、養生を全うしためなのです。」

人間の成長と老化については次のように記述されています。

黄帝が言いました。

「年を取れば子供が出来なくなるのは、精力がつきためたためなのか、それとも天の定めかのう。」

岐伯は答えます。

「女子は七歳になると、腎気が盛んになり、乳歯は永久歯に生え変わりますし、髪の毛もよく伸びてきます。十四歳になると天突が完成され衝脈と任脈の働きが旺盛になり、月経がはじまると同時に、妊娠が可能になります。二十一歳になると腎気は完成し、

親知らずが生えて骨格の形成も完了します。二十八歳になると筋骨や髪の毛の栄養状態が最高になり、肉体的にも最も元気です。三十五歳になると陽明経の脈が弱つてきますので、顔の色つやにかけりが見え始め、髪の毛の量が減少します。四二歳になると太陽、陽明、小腸の脈が顔面部で衰えるため、顔はやつれ、白髪がまじつてきます。四十九歳になると衝脈と任脈も衰え天突がつきるため、閉経を迎えます。男子は八歳になると腎気が盛んになり、乳歯は永久歯にはえかわりますし髪の毛もよく伸びます。十六歳になると腎気が旺盛になり、天突が完成されます。精通を迎え、生殖機能が備わります。二十四歳になると腎気は完全に充実し、親知らずが生えて骨格も完成します。三十二歳になると筋骨などの栄養状態が最高に達して、持最も、元気で、四十歳になると腎気が衰え始めるため、髪が抜け、歯に艶が無くなります。四十八歳になると陽経気が衰えるため、顔がやつれ、白髪が増えてきます。五十六歳になると肝気も衰えるため、運動能力も低下し、肉体的にも、衰えます。六十四歳になると歯や髪の毛が抜けてしまいます。年とともに、五臓が弱つてくれば肉体的にも、衰え、天突もつき、生殖機能もなくなるのです。」

これをまとめると次のようになります。

混合歯列期(歯が生え変わる)

男子 八歳 女子 七歳

天突 完成期(生殖力の完成)

男子 十六歳 女子 十四歳

骨格形成完了(骨格形成完了。親知らずも生える)

男子 二十四歳 女子 二十一歳

成長完了期(体力がピークに達する)

男子 三十二歳 女子 二十八歳

盛衰転換期(体力にかけりが見え始める)

男子 四十歳 女子 三十五歳

退潮期(明らかな肉体的に衰えが始まる)

男子 四十八歳 女子 四十二歳

天突枯渇期(生殖能力がなくなる)

男子 五十六歳 女子 四十九歳

実際の成長や老化には、個人差があるので、各時期には、五〜六歳の幅があります。盛衰完了、退潮期、天突枯渇期は、男性四十歳から六十歳、女性三十歳から五十歳ですから、およそ三十歳から六十歳の時期を中国医学では壮年と考えられます。この時期は体力的にも下り坂になるうえ、中性脂肪やコレステロールなど体内の老廃物も気になる時期です。

心と体を維持するエネルギー源は、受精した時に両親から受け継ぐ先天の精と、毎日の食事から得る後天的な

精で、腎臓に蓄えられています。先天的精は年令とともに徐々に減少していきますので、老化を遅くするために、後天的精で補う必要があります。こういう理由から毎日の食事の内容が老化を防ぐためにいかに大切かがわかりになると思います。又、この精を減少させる要因は加齢の他には、男子は射精で、女子は生理と出産でありま

す。中国医学では、過剰なセックスや短期間に続けて出産する事を避けるように勧められています。実りある老後に備えて、壮年期には、体の老廃物を排出し、体の機能低下を補い、節度ある生活に軌道修正して、老化に対応しなければならぬ、大切な時期なのです。

古代中国では、稲作は紀元前五千五百年頃に東部で始まり、その五世紀後には、黄河流域で農耕社会が発展しました。そして、黄帝は四千七百年ほど前に、この農耕社会を制定して、人類の穴住生活を家屋生活に改め、門を創り、初めて車と船を創り、天文書造つて干支と曆法を定め、算法を發明し、笛を創つて十二音律を定め、衣装による階級の区別をつけ、弓矢を發明するなど、文明的な制度、文物、生活を創始して中国文化の基礎を作りました。かなり神話化されてはいますが秦の始皇帝よりも前、紀元前三千

年から二二一年の間の伝説上の五帝の一人であり尚かつ実在した帝王の一人なのです。

黄帝神話は他の伝説上の英雄のものとは違い、宗教色はなく、とても合理的で新發明や新案が沢山あり、どちらかといえばサイエンスフクシヨンのであります。黄帝は地球に文化を伝えるため、他の惑星からの使者ではないかと研究している人もいます。ではその一部を紹介します。

黄帝は子供の頃より、人徳に優れ、「雷神の子」ともいわれていた。いつも南方にむかう車を發明させた。頭が銅で、手が六本ある同じ形体の七十二人の兄弟を持つシウユ(砂や石をエネルギーとすると戦った。山頂の鏡湖畔に巨大な十二の鏡を設置して、月の変化を観測した。青銅製の大やかんを鑄造し崑崙山頂においた。この中には沢山の霊があり、この神託を聞いた。地上界では百十歳まで、生きて二十五人の子供を持ち、獅子座の胸の位置にあるアルファレオ惑星から迎えにきた。光より早い速度で飛ぶ竜に乗って、この星に戻り、天上界を支配した。

「黄帝内経」に記述された内容は今も、中国医学の中核をなし、私も中国医学校で長い時間をかけて勉強しています。初めは退屈で非科学的と思つた時もありましたが、少し勉強すると、

自然科学とは、全く異なる理論体系があることがわかります。そして、それは、目に見えるものだけでなく、目に見えないものも含めてた宇宙全体を包括したもので、数千年の時代のギャップさえも感じさせない奥の深いものです。一方、私達が誇りにしている、現代の科学技術は五千年後にも存在しているのでしょうか、はたまた、地球上の人類を含めた生物を滅亡させてしまっているのでしょうか。

本当に私達が大切にしなければならぬものは、普遍的で素朴なものではないでしょうか。なぜなら、人間もその自然の一部だからです。

参考文献

The Foundation of Chinese Medicine
by Giovanni Maciocia ISBN
0-443-03980-1
Mysteries of the Yellow Emperor by
Paul Stonehill, rure@earthlink.net
漢方散歩
<http://village.infoweb.ne.jp/~kojindo/>
黄帝内経素問
<http://www2.dokidoki.ne.jp>

診療所

Toronto School of Traditional Chinese
Medicine: tel: 416-782-9682

東京裏通信とはチョットはずれて、今回はカナダの老人ホームの話を書かせて頂く。私にとつてカナダはまさに「帰る」という感じで、年に一、二回は帰らせて貰っている。

今回は「カナダガーデニングの旅」というのをJTBが募集していたので、ウィクトリアのエンブレスホテルに泊まってきた。余談だが、エンブレスホテルのハイティというのは憧れだったのに三十三ドル（内容は、ミニサンドウィッチ、スコーン、クロテットクリームとママレード、紅茶、果物、ジュースもするの）で、三十三ドルあったらジャズライブのテーブルチャージの方が良いので、着飾った紳士淑女が入っていくのを横目に見てバスして来てしまった。

さて、ガーデニングツアーというのは何をするかというと、ブッチャードガーデンを覗いたり、園芸店を覗いたりするのが目的だが、本当は市が用意した材料を使ってハンギングバスケットを作りに行く、というのがメインになっている。前回は六百人という大ツアーだったの、五、六人で一つのハンギングバスケットを作つてウィクトリアの街に寄付をしてきた。今回申し込んで

東・京・裏・通・信

ウィクトリア
老人ホーム
見学記

尼子三矢子



みると、毎年やっているせいか三十四人のツアーに減っていた。それが幸いして、じつくりと一人一つの花籠を思うまま作ることが出来た。それが街に吊されて花盛りを迎えた頃、市役所から写真が送られてきて、「あら私達の作つたのがこんなにきれい」となるのである。余つたハンギングバスケットは七二ドルで売ること、それも寄付。何だか私達つとつても良いことをしに行つたみたい。

やつと本題に入らせて頂くのだが、その内の五個を市立養老院に贈ることになっている。そして今までは時間に追われて私達自身が届けることはなかったのだが、今回は

人数も少ないので皆で届けに行く企画になっていた。

私達は大型バスに乗り、市役所の車がその後を一個四十キロもするバスケットを五つ積んで追うという形で老人ホームに着いた。想像していた建物は例えば東京の八王子にあるホームのコンクリート塀に囲まれたような所ではなく、あらどこかのお金持ちの家かしらと思うようなクリーム色とグリーン色のトーンで開放的な建物だった。

バスで降りた途端、一人の青年がおしいチャンを乗用車に乗せようとして散々苦勞をしている場面が目に見え込んできた。私はリュックを背負つたまま本能的に手伝つていた。おしいチャンは全く車に乗る意思がなく、足を中心にしてくれない。青年が抱きかかえて私が足を持つてやつと後部座席に押し込んだ。「どこへ行くの」と聞いてみたら「ホスピタル」という返事。その間おしいチャンは無表情でどこを見ているのか、何をされたのか、全然分かつてない様子で青年に連れて行かれてしまった。のつけから少々ショックな経験をした私はウェルカムで迎えられて、明るいホームの中に入れて貰った。

案内してくれた女性は二人いて、若くて体中から優しさの溢れた笑顔の人達だった。説明されて何故私達がバスケットを五個寄付したかが判つた。中庭が五つあつてどの部屋から見えるように設計されているとのこと。その庭がマア何と美しい花々が咲き乱れ、噴水があつてお伽話の世界を再現したように作られていた。次々と中を案内してくれるのだが、廊下で老人とすれ違う度に彼女らは「ハイ、キャシー」とか「ハイ、ポプ」とか声を掛けて歩く。車椅子に乗せられた無表情な人が居るかと思えば、ブツブツ独り言を言いながらサロンでお茶を飲んでいる人もいる。ゲームをしている組もいる。

中には「どこから来たのか」「何をしに来たのか」と好奇心丸出しのおばあちゃんや私達にくつついて歩いたり、いかにも不機嫌なおしいちゃんが「東洋人は嫌いだ」と面と向かつて案内の女性に言いに来たり、いろいろな老人を一度に見たので興奮してしまった。ウィクトリアという所は気候が良いために、引退後の人達が多く住んでいて、ここ他にも公共の老人ホームが沢山あつて、市は予算的にも他の都市より

大変なのだという話だった。

資産に応じて只の人もいるし、有料の人もいて、夫婦でいる人の部屋を見せて貰ったが、簡素な中にも普通の家庭のようなムードがあつて、明るいだまりの窓の下に猫がアクビをしていた。これから食堂で昼食が始まるらしく、介護の人が一人一人を車椅子に乗せて移動したり忙しくなってくるころだった。介護人は数人の職員を覗いてほとんどボランティアだと聞き、又々頭の下がる思いがした。

いざ帰る段になって、美味しそうな匂いが漂い始めた玄関の方へ行くと、ママ何と可愛いおばあちゃん
が仲良しらしくシワシワのお顔に口紅を真っ赤に塗った一人と、ヒラヒラなお姫様服を着た一人と、ロングスカートにネットレスの盛装の三人が「ハプアワンダフルデイー」と私達一人ひとりを見送ってくれた。ツアーの人達は日本語で「おばあちゃん御元気でね」とか「長生きして下さいよ」等と言いながら出て行く。私も最後に「ハンギングバスケットを下ウネイトしたので、見てね」と英語で言ったら「サンキュー、サンキュー」とハグまでしてくれた。このおばあちゃん達と優しい案内人の女性のお陰で、私達の老人ホーム見学は「よかった、よかった」で幕が

降りたのだった。

さて、バスに戻って私はルポライターの本能で、皆に意見を聞いてみた。
「どんなに施設が良くても、あななつて生きて行くのは大変だ」
「でも現実を見せて貰って、いつの日の自分を考える機会になった」
「私は子供がいらないから野垂れ死にするわ」と言う勇敢な女性、
「何にせよ金が無くては話にならないよ。こんなツアー参加も少し減らしてこれから金でも貯めるか」と言う男性、
「でも私は歩ける間に楽しいこと一杯するわ。あとは思い出で生きて行くわ」

「僕は子供が四人いて今まで精一杯子供にしてみたら、放っておかれることはないだろう」
「それは甘いよ。日本に帰ったら遣言でも書くかな」
「私は最後まで明るく生きて体が動ける間は人のためになることを考えます」と答えた人に全員から拍手が湧き、若いツアコンの男性から「今までいろいろな団体のお世話をしたけれど、こんな真剣な話し合いをうかがったのは初めてです。ありがとう」と逆にお礼を言われて、私達はウィクトリア島を後にしたのだった。

JEAN-PIERRE & KRISTENSEN

ジョン・ピエール & クリステンセン美容室



美容一般、着付、エステ

960-0335

予約はユミ子まで

29 Bellair St. Unit 207, Toronto

(地下鉄 Bay 駅下車、Bellair 出口すぐ)

新司・割烹みかど

- お子様メニューもございます。
- お寿司その他テリハリー致します。
- 20名様までご宴会うけたまわります。

シェフ オーナー 樹田 佳一

114 LAIRD DR. LEASIDE, ONTARIO

PHONE: 421-6016 LICENCED

日曜定休



裏千家トント教室

新 宗楓

8 Dallington Drive

Willowdale, Ontario

M2A 2G3

(416) 493 - 6776

格安でよい品物をお探しなら当店で!!



小沢カナダ

- ・ ZOJIRUSHI, Panasonic Rice Cooker & Airpot
- ・ Henckel ・ 家庭用品 ・ 電気製品 ・ 日本食品
- ・ メーブルゴールドコイン、メーブル・シロップ

135 EAST BEAVER CREEK RD. UNIT 3. RICHMONDHILL, ON L4B 1E2 Eメール: ozawaine@instar.ca

TEL (416) 229-6343 (905) 731-5088 FAX (905) 731-0778

素敵な出逢いたち

森貞一弘



人生は、いろいろな沢山の出逢いが
あるから楽しい。その出逢いとは、必ず
しも人とは、限らず、時として、動物で
あったり、小説であつたり、芸術であつ
たりと、様々なのだ。

子供の頃から、いろんな動物を家で
飼っていた。最初は、たしかアリだった
と思う。やがて近くの池で捕れるザリ
ガニや、亀というように進歩していっ
た。(残念ながら、どれも、長生きはし
なかった。今思うと、すこしい加減な
ことをしていたように思える。)

カナダ(アルバータ州)に来た当事、
しばらく、ペットを世話するような余裕
は無かったのだが、どうしても一人暮

らしは淋しかったので、Kマートで熱帯
魚を買った。うくん、魚は、やっぱり、
魚。エサの時間意外に懐かなんて程遠
い。しかも結構、世話が大変だった。少
々、癒しの効果はあるものの、何か物足
りないなと探していると、近くの荒
地に不思議な動物を発見した。プレー
リードッグという地面に穴を掘って暮
らすリスのような動物だ。気の合うア
ホな友達と、散々、苦勞して捕獲した
のだが、これも懐かなかつた。しかたな
いので、結局、再び自然へと帰してやっ
た。(これは、後でわかつたのだが、やた
らと変な病氣を持っているので、捕獲し
てペットにするような動物では、ないら
しい。)

そういうことを考えると、僕の生活
に犬が登場するのは、比較的新しいの
だ。要するに妻が大好きなので、ただ
それに合わせたのが、そもそも、この終
わりのない辛抱の連続へのスタートだ
うた。(男はつらい……)ディズニーのアニ
メ映画に出ていたという単純な理由だ
けで、コッカ・スパニエルという種類に
して、マギーと名づけた。

チャンピオンの血を受け継いでいるマ
ギーは、確かによく出来た犬だった。ど
こに行くにも連れて行き、何をしても
全身で喜びを表現していた。

「こは、私の大好きな家、平日、休日
に関係なくいつも早起きし、マスターを
起こし、遊んでもらおう。昼寝をする
ところは、あの大きな桜の木の下、散歩
は大きな木が茂るいつもの森、そして
寝るところは、マスターのいつも座って
いるソファー、お風呂は嫌いだ、月一回
くらいは、何とか我慢しよう。」きつと
そんな風に思っていたのだろう。

五歳になつた頃、癌だと診断された
が、マギーはそれから、それから八年
間、僕と妻の腕の中で静かに眠るとき
まで、力強く生き続けた。

「どんなに手をつくしても、個人の努力
だけでは、どうしてもダメなことがあ
る。そういう時は、静かに笑って、それ
を眺めていればいいんだ。」宮澤賢治の
言葉だ。

あれから一年、我が家に来た桃子、
(今回は刑事コロンボというドラマに出
ていた名犬と同じ種類という理由で選
んだのだが……)四足という事意外、ほ
んど同じ部分がない。けれど、どん
な犬でもマスターに対する忠誠心を持
っている。もう、それだけで充分なの
だ。決して教育すること諦めたわけじ
やないよ。桃子は、桃子で、いい部分
がある。子供の頃、母は「どんな命も尊
いって僕に繰り返し言っていた。「其々
を比較することで生きるのじゃなくて、
あるがまま、各々の全てを認めた上で
調和していくことが、肝心だ」と言いた
かつたのでは、ないだろうか?

はてさて、「命」とは、不思議なもの
である。科学技術を駆使すれば、たん
ぱく質を合成できるが、それは単なる
肉に過ぎない。

北米インディアンだけでなく、いろい
ろな民族が「石ころにも、川や海や山に
も命が宿っている」と信じている。とて
も素敵な言葉だ。

「命」それは、知識とか科学などで、
考えるものでなく、あえて言えば、命
同士でしか感じるものが出来ないもの
のような気がする。そんな命の大切さ
を少しだけ教えてくれるのが、ペットか
も知れない。

ジャック・ケルアックと『オン・ザ・ロード』



ビートジェネレーションを代表する作家、ジャック・ケルアックのベストセラー、『オン・ザ・ロード』のオリジナル原稿が作家の原稿では過去最高の二四五万ドルで、クリステイーのオークションで落札されて話題になった。落としたのはインディアナポリスのプロ・フットボール・チームのオーナー。ケルアックは高校時代フットボール選手で、フットボールの奨学金でコロンビア大学に入学している。(尤も一年で中退して船員になってしまったけれど)。

オリジナルといってもマネスクリプトではなく、テレグラム用紙にタイプした二二〇フィートに及ぶスクロールで、『オン・ザ・ロード』のハイウエーのようにどこまでも長く続いている。売ったのは彼の三度目のワイフの甥で、不動産相続税の支払いのためだそうだ。

ケルアックはケベックからマサチューセッツ州、ローウェルに移民した

フレンチ・カナディアン二世で、自分でもフランク・アメリカンとアイデンティファイしている。カナダの人はケルアックのことをアメリカのカナダ人だと思っているようだ。

新聞によると「オン・ザ・ロード」(一九五七年初版)は三五〇万部売れ、今でも年間十萬部以上売れているという。本屋で一番よく引きされる小説だそうだ。そうなるに気になってくる。

本の好きな友人に電話して「ケルアック読んだ? どんな本?」と聞くと、「面白いから読め、つて薦められているけれど、何となくうさくさいので敬遠している」という。ビートジェネレーションの有名な詩人やアーティストの顔と名前が浮かぶ。そういうわれれば皆、うさくさくさい、とは言い難い。

『オン・ザ・ロード』は、ケルアックが友達のリール・キヤサディ(本の中

ではディーン・モリアティー)とアメリカ、メキシコをヒッチハイクする物語である。詩人のアレン・ギンズバーグもカルロ・マルクスの名前で出てくる。『オン・ザ・ロード』でケルアックは愛すべき先天的なコンマン、ディーン・モリアティーのキャラクターを創造した。十一歳の時にアル中の父親が酔っぱらったまま貨車に乗って何処かに行ってしまった。天涯孤独となり、小さな罪で七年間少年感化院で過ごしたモリアティー、女の子を追いかけ、周囲の人々や友達には迷惑のかけつばなしだが、人生の肯定者で永遠の放浪者のモリアティーに作者はホーリー・コンマンの名を呈した。

それにしても一九五〇年代のアメリカは何と健康な社会だったのだろう。第二次大戦後の黄金期でまだ病めるアメリカになる以前の時代である。その時代のアウトサイダー達がビートジェネレーションを形成し、ポップカルチャーの担い手として登場した。

ケルアックの文章はジャズのビートに乗ったようなリズム感のある独特のスタイルである。この文章のスタイル、どこかで読んだことがある、そうだ、セリーヌの「夜の果ての旅」だ、セリーヌ(英訳)にビートを付けるとケルアックになる。ケルアックはヨーロッパの影響を受けなかった最初のアメリカ人作家というが、

彼自身は「フィッツジェラルドよりジョイス、ブルーストに共感がある」と述懐している。コロンビア時代は授業の古典ではなく、セリーヌを読んでいた、という。

主人公の友人モリアティーにオーバーラップして見えて来るのがアラン・フルニエの「モーヌの大将」だ。『オン・ザ・ロード』の中で、主人公はハリウッドの本屋で「モーヌの大将」を盗んで東部に戻るバスに乗る。おそらく彼の愛読書だったのだろう。作者の秘密をかいま見ることは楽しい。だからと云ってケルアックのオリジナルが失われたことにはならない。第二次大戦後のアメリカの一時期を表す作品として『オン・ザ・ロード』はすでにアメリカンクラシックの中に入っている。

ケルアックの作品には他に「Town and City」「Vanity of Duluz」「The Subterraneans」「The Dharma Bums」「Desolation Angels」等があり、アン・チャターズ編集のアンソロジー「The Portable Jack Kerouac」は彼の全貌を知るによい。彼は一九六九年にフロリダのセントピータースのバーで事故死(酔っぱらった喧嘩が原因?)している。四十七歳であった。クリステイーのオークションがなかったら、筆者はおそらくケルアックを読むことはなかったであろう。

(K・H)

ダンス・ダンス・ダンス 村越直子

ロン・マンソン演出の新しい物と踊り

最近のダンスシーンは、多様なメ

ディアとの共同作品抜きには語れない。今回は演劇の中にダンスを精力的に組み込んで制作活動を続け、今ではトロントだけでなく、カナダ全土より注目を浴びている演出家、ロス・マンソン (Ross Manson) の仕事についてのお話。

私は好奇心のてんこ盛り状態で、リハーサルの合い間、そして昼下りの休日に彼のいれる自慢のカフェ・オレをいたさながら、いろいろと探りを入れてみた。(私はコーヒーにはこだわる。コーヒーにこだわる人の文化論に賛同しやしない) 彼の作品はダンスとのコラボレーションに限ったことではなく、一九九

四年に Volcano という劇団を主宰

し始めて以来、新聞・ラジオで誉めに誉め続けられ、その活動は多大に支援されている。カナダのパフォーマンスアート界では最高に権威ある Dora Award に何度もノミネートされ、二〇〇〇年の「Building Jerusalem」では見事ベスト・ブレイ、ベスト・プロダクションをダブルで受賞。その後の作品も海外に招待を受けるなど、名実ともに今第一線を行く演出家なのだ。でも、どうしてダンサーを起用するの？踊りが上手な俳優だっていっぱいいるのに。彼は正直に言う。「若い時からモダンダンスが好きだ

つたから。」だからといって、大きいリスクを背負うか?? 「リスクを背負わないで、新しいモノは生まれてこないだろう。」そして続ける。

「自分が芝居をやっていて、こういうのも何だけど、ダンスは言葉よりも先に誕生した意志疎通の手段だからね。」俳優がどんなに頑張ってもプロのダンサーのような動きは出来ない。ダンサーを起用することによって可能性が広がる。勿論、ダンサーだったら誰でもいいわけはなく、十分に役者として通用する人材を捜してキャストイングしている。「とはいえ、基礎からの発声練習の様子を想像してもらいたい。にわかに来るものではないよ。」よ。「そこが又、演出のやりようだよ。」では、いったいあなたは何をしようとしているの? 「演劇の慣習に習いながら、現代において観客の心に残る強い衝撃を見出すように、いかにして物語を伝達してゆくかを開発すること。」いい作品は観客の体内に残る。簡単に解りすぎても駄目、すぐ忘れるから疑問として残る方が作品としては意味がある。ふーん。私が彼の作品を好むのは、セリフの奥の深いところまで理解しているとははつきりと言えないのに、なぜか直接的に感情を震え立たせるようなシーンがちりばめられているから。だとすれば、観客としての

私、彼の目論見には十分引っかけているわけだ。

このロス・マンソン演出のもと、パフォーマンスとして私が参加する The Four Horsemen Project は一九七〇年代にトロントで活躍していた Sound Poetry のグループ、The Four Horsemen の作品、Allegro 108 に踊りを加えて再現するもので、オリジナルとはちと様相が変わるが、(オリジナルはカナダ人男性四人、今回のキャストは男性一人に中国系女性、アフリカ系女性、日本人の私)。原作の言葉遊びのコンセプトはそのまま残し、そこに動きの遊びが入る。振り付けは彼とコラボレーションの長い、その活動で有望な若手振付家として期待される Kate Attoni。彼はたまたま昨年の夏 CBC から流れていたこのスコアを耳にして、人間の声だけを使ったこの革命的な作品の虜にならした。

この作品はこの秋、Overall Dance 公演「Acceleration」で発表されます。九月二六日から十月七日 Dancemakers Studio にて。お見逃しのないように。また、ロス・マンソンの最新作で、試演の段階ですすでに好評を博している「Morality」は二〇〇〇年一月にトロント公演が予定されています。劇場に足を運ぶいいきっかけになりませんか?

無形の 世界中の 存在



鈴木 ユウ

ふと思いついたことがある。
小学生の時に呼んだ江戸川乱歩の『少年探偵団』シリーズである。

当時はお小遣いというものをもらったことがなかった。どうしてももらえていなかったのかはいまだに両親に聞いたことがないのでわからない。お小遣いももらえないということはほしいものが買えないというところである。本屋に行っても、眺めているだけが多かった。その頃、いつのまにか学校の図書室に放課後になると行くようになっていた。小さな図書室だったが、そこがこの品揃えで、よく読んでいたのが『少年探偵団』。中身の方は忘れてしまったのだけれども、いつも棚に並んだ本を目にするとワクワクしたのを覚えている。あちこち擦り切られて、セロハンテープで補強したところばかりだったが、表紙にいつもときめいていた。厚めの単行本サイ

ズで、何にもましてよく覚えているのが表紙にかかれていた、おどろおどろしい絵だった。今では絶対に描かれないだろう、超リアルな人物描写。いつもきまつてくらしい背景の中に怪人二十一面相や、悪人の姿があった。梅岡かずお(漫画家)も吃驚するような表紙である。そしてあの古紙独特の香り。最初のページをめくるときのどきどき感。本を手にしたときの心地よい感覚はそのときに植え付けられたのかも知れない。

ともあれ、本との出会いは触れた瞬間から始まるのだと僕は思う。人によつては違ふかも知れないけれども、僕にとつてはそうだった。しかし、もしかしたら近い将来、その醍醐味を味わうことが出来なくなってしまうかも知れない。紙の本がなくなる可能性が出てきたからだ。

もともと出版業界は不況に強いといわれてきた。けれども日本で景気後退が始まった九〇―九一年頃から雲行きがあやしくなってくる。それに活字離れという現象も痛手だ。一口に出版といつてもその内容はさまざまだが、文芸誌は言うには及ばず、最近日本では、強かったはずの漫画雑誌の売れ行きも落ち込んでいる。しかも新世紀を迎えた世界はアナログからデジタルへ大きく移行しつつあり、そして出版業

界もまた同じである。

たとえば日本を見つみると、マンガという視覚的なものから活字離れが生まれた(ぼくはマンガも好きであるから至て漫画のせいにしたくないのだけれども……)と言われているが、いまは存在しないけれどもより視覚的なバーチャルな世界が活字離れを起こしているという。活字で書かれたものはそれを楽しむときにある種の想像力を必要とするけれども、たとえばゲームを代表するように、バーチャルな世界はそんなに頭を使わなくても楽しめる。とつては出版する側も経費の削減と時代の流れを汲まなくては生き残れない。

米国の雑誌に載った出版エージェンツのインタビュー記事のなかで、彼らは遠くない将来、紙の本はなくなるだろうと言っている。

ある意味で言えばそれはよい結果を生み出すことにもなる。つまり、デジタル化されれば無駄紙を使わず、環境にも良いばかりではなく、売れなかった在庫を抱えることもない。客は書店ですらりと並ぶ本の棚を眺めるのでなく、コンピュータの末端の画面を見つめる。好きなものを画面で選べばそのまま印刷されたものが出てくる。あるいはDVD-ROMのような記憶体に記録するだけだ。ということは本棚というものが家庭からなくなるこ

ともなり、こっそりとヘソクリをし
ているお父さん、お母さんも、新し
い隠し場所を探すのに苦勞するこ
とになる。(いまどき本の間にヘソク
リはしないか……)

出版する側だけではない。
書き手の方も変化して行かなくて
はならないだろう。事実、ホラー小
説の第一人者ステイブン・キング
氏はネットの配信だけによる小説
を発表した。これはダウンロードし
た読者が、一回につき数ドルの購
入料を支払うというもの。(ただし
昨年十一月下旬、購読料の払い込
みが全体の七十五%を下回ったた
め、中止になってしまったが)

もつともこうした試みをしようとして
しているのはごく少数派で、今後は
どうなるかわからないが、無名人な
でもある日、売れっ子になっていた
りするかも知れない。何だかこう書
くと、我々にはいいことずくめのよ
うだけれど、考えてみればありとあ
らゆるものが『出版』されるわけで、
結果的に大量生産、質の低下、何
がよいのか読者にわからなくなつて
しまつような気もする。

だからといってぼくはこのような
流れを否定しないし、便利になれ
ばそれはそれでいいのではないかと
思う。大切なのはその使い手がどの
ように使っていくかということだ。
人間も同じではないかと思うこ
とがある。

「松虫」に出会いを思う

多田早苗



能が好きである。とはいえ、お謡やお仕舞いを習ったことはもちろんなく、題材となることの多い古典文学についても好きではあったが原典を読みこなすほど熱心だったわけではない。実を言えば、好きとはいっても初めてまともに能を見出したのは一年半ぐらい前からで、能に馴染んでからの時間が三十何年の人生においてさしたる長さを閉めているわけではない。さらに告白すれば、月に二、三度度能楽堂に通ってはいたが、居眠りをすることもかなりあった。でも、好きである。

とはいえ、実は悲劇がきらいである。悲しい結末のテレビや映画や舞台を見て延々、悶々としてしまう。でも、能は早死、自殺、戦死、怨恨、

嫉妬など、悲劇の題材のオンパレードである(もちろん五穀豊稔を寿ぐ「翁」を筆頭として、めだたい題材もたくさんあるのだが)。

何事も最初が肝心というか、出会いが大切なものかもしれない。一番最初に見た「松虫」の、舞台としての出来映えがどうだったかは演劇専門家ではない私には語りようがないが、見終わって、泣きくれた後、あるいは悩みぬいた後に訪れるうつろながらも妙な晴れ晴れしさというかすつきりとした感を覚えた記憶がある。以来、このすつきり感が何たるかを知りたくて、能楽堂に通うようになる。

「松虫」物語のあらすじは次のとおり。

ときは秋。松虫(鈴虫)がりんりんと呼んでいる。摂津の国(現在の阪神地方)のある市で酒を売る男がいる。このころ若い男がしばしばやってきては心楽しくしみじみと酒を飲んで、話をして、帰っていく。気になる客である。今日もその男がやってきた。酒飲み話に「松虫の音に友を偲ぶ」と口ずさむのを聞いて酒売りがそのいわれをたずねると、ある男の話になる。その男には死ぬときは必ず一緒と誓った無二の友がいた。ところが二人で野遊びにでかけたとき、相方が松虫の音に誘われ、野の果てまで行ってしまった。なかなか帰つてこないのを心配して見に行つてみると、あわれ相方はむなしくなっていた。男は大いに悲嘆に暮れ、相方を土中に葬ると自分も後を追うようにして死んでしまった。そして、自分がその男の亡霊であり、鈴虫の音に誘われて出てきたが、己を恥じて野に帰るといふ。酒売りは去りかけるその男を引きとめようとす。亡霊はこれを嬉しく思いつつも消えてしまう。酒売りはその後、土地の人に二人の友の物語を聞き、菩提を弔うことにする。すると先刻の亡霊が現れて、酒売りに弔いの礼を述べ、亡霊は酒売りと杯を交わしつつ、

友と二人で見た花鳥風月のさまをうたい、踊る。酒と舞の宴に夜は更け、やがて明け方が近づくと、尾花に誘われるようにして亡霊は再び消えていく。後に松虫の音だけを残して。

ちなみに、酒売りはナレーターのな役割であるところのワキ、基本的に一所に座している。舞、うたうのはシテであるところの若い男、後に亡霊で、「動の部分」を一人(ただし、冒頭部分のみは何人かを引きつづけている(シテツレ))で受け持つ。能舞台の上にはこの他、囃子方やバツクグラウンド・コーラスたる地謡、物語の節目で重要な背景を語るころの問狂言を勤めるアイがいるのだが、面をつけ、舞うのは、一部のみ登場するバツク・ダンサーのようなシテツレを除いてシテのみであり、それ以外には動きのない舞台である。しかも物語は室町期に完成したものとされており、よつて野遊びだの、市場の酒売りだの、花見以外のアウトドアでの宴会だの、後を追って死にたくなるほどの近しい友人関係だの、血縁関係にない人の弔いだの、己の身を恥じる奥ゆかしい幽霊だの、当時では常識だったかもしれないが、今日の日常からはおよそ想像がつかぬ概念の連鎖である。しかも台詞は久しく離

れていた七五調の古文、よって、ほとんど意味不明の予定。眠くならないわけがあるか。

ところが眠くないのである。薄明るい能舞台で若い男、後に亡霊が、紺と海老茶という押さえ目ながらも艶やかな色調の装束に、憂いとも恨みともつかぬ表情の面といういでたちで静かに、されど流麗に舞い、二度とは戻らぬ日の思い出と今の想いを流れるような詩文でうたう。地謡の幾重もの声がその心象風景を地の底から響かせるようにうたい上げる。簡素な作りの能舞台、押さえた中間色の色調という静なる視覚的状况の中、高くも低くもない心地よくも呪術的な音声と、美しくも個性の介在を許さぬかのような儀式にも似た舞に、現世と彼岸の間をさ迷う魂が現れ、語り出すのである。まるで暗示か催眠術にでもかかったように、ああ、そうなのか、そうなのかと語り手の心が流れてくるのである。その存在を強く信じている人意外は、霊などSF X 映画でしかお目にかかれなると考える人が大半の日本人の典型的中年であるところの私でも、思い出深くもいささかの恨めさが差している松虫の音にいざなわれて、野で朽ち果てた男ふと現れ、人恋しさに気の良さそうな酒売りを

尋ね、酒を酌み交わし、とめどなく思い出話をしたくなる気分が、美しい風物に友とともに触れた喜びや、半身とも言えるその友を失った嘆きが、そして、その安執ゆえに成仏できず、人にあさましい姿を見られて恥じ入る気持ちがあった、というよりも、そうした気持ちになれたのである。

そして、亡霊が去り、「草花々たる、朝の原に、虫の音ばかりや、残らん」。ひんやりとした空気に松虫の音。どこか寂しさを含んだ明日を迎え、客席を後にする、つまりいつもの日常に戻ることになる。

妙に晴れ晴れとし、すっきりとした感、これをトロントで知り合った中世日本文学の研究者が明快な言葉でまとめてくれた。「主人公と一緒に悲しんで喜んで、己と向き合って、それで心が洗われてきれいになったという気がするのよ。」

答えがわかるまで地球を半周。どこに出会いがあるかわからないものである。

(国際交流基金トロント文化センター)

NU21
YAMAHA

The Future of Music and Sound

100
YEARS
Yamaha Pianos
Since 1900
A Century of Excellence



YAMAHA®

Music Education

Acoustic Upright & Grand Pianos
Disklavier Record/playback pianos
MIDI Pianos
GranTouch Pianos

Clavinova Digital Pianos
Portable Keyboards
Electone Organs

Woodwinds
Brass
Concert Percussion
Marching Percussion
Silent Brass

Guitars /electric / bass / classical
"Silent series" violin, cello and bass
Synthesizers
Drums
Amplifiers
Speaker Enclosures
Digital Effects
Digital Recorders & Mixing consoles
Powered Mixing Consoles
Powered Speaker Enclosures

www.yamaha.ca

民意と政治家と官僚

インタビュー

— 国家運営と統治能力を巡って —

高中公男

自由民主党の総裁選挙があり、小泉純一郎氏が世論を背景にして、数の論理を背景に「優勢」を伝えられていた橋本龍太郎元首相に圧勝した。これを日本のメディアは自由民主党のこれまでの「負」の遺産である「数」の論理が、民意に屈した画期であったと一様に歓迎ムードで迎えた。しかし、小泉政権の抱える政策課題は非常に大きく、民意に支えられた政権であるだけに、かなり思い切った政策転換が可能であると考えられる一方、ポピュリズムほど危険なものはないという見方もある。こうした政治サイドの問題もあるが、そればかりでなく、行政サイドにも大きな異変が生じている。

かつて日本経済が躍進を遂げ、それが賞讃と妬みとのアンビバレントな感情を惹起していた頃、欧米の学者は、日本経済の躍進を「奇跡」と捉え、その要因に優秀な官僚の存在

を指摘していた。その評価は、もちろん一様ではない。しかし日本の官僚の「優秀さ」を指摘し、それと日本経済の躍進を関連させて論じた文献が多いことも事実である。また確かに学力面で「優秀な」人材が数多く官僚となり、それを目指していた。したがって、日本の官僚が学力面において「優秀」であることに異論はなからう。しかし、そうした戦後日本の「官僚神話」は相次ぐ不祥事で地にまみれ、反対に必要な構造改革を遅らせた「元凶」として糾弾されることも少なくなかった。日本の官僚に「公僕」という言葉はもはや当たらない。むしろ「貴族」に近い存在かも知れない。ただ、官僚となったすべての人々に問題があるわけではない。むしろ一部にそうした存在があり、官僚のかつて持っていた「行政指導」党の民間に対する影響力、存在に対する「反感」と「妬み」との相混じった感情が強い官僚批判の根底に

あるように考える。

官僚は行政サイドを形成する存在であり、本来は政治が立案した政策を適切に運用することが任務である。彼らに国家運営あるいは統治能力を期待していたことに問題があったのかも知れない。数年前に導入された「副大臣・政務官制」は、まさにそうした政治主導の政策運営を目指して導入された制度であった。しかし、それが実は行政サイドに望まざる大きな変化をもたらした。各省庁の幹部クラスは、かつては政府委員として国会に出席し、自ら政策について答弁することが出来たが、現在は、当選回数で順番に回ってくる

関係のために法案その他のブリーフイングあるいは根回しをするために奔走させられるようになった。これは、若手官僚の「やる気」に影を落としている。事実、かつてであれば、未だ事務次官候補と目されていた「優秀な」人材が、政界あるいは民間へと急速に転出している。これは実質的に官僚の地盤沈下に拍車をかける結果となっている。政界に転出するにしてもこれまでは、一定の地位まで昇った官僚が転出するか、出世競争の敗残者が転出するケースがほとんどであり、それらは政界に「族議員」を形成するのが常であった。しかし最近の特徴は、中堅ないしは若手の将来嘱望される官僚の転出であり、従来とは全く異なる傾向である。「天下国家」を論じ、国を憂う意識がすべてではないが、そうした意識を持った官僚から転出していく最近の傾向をどのように考えるべきであらうか。

政治に「独り立ち」を期待するに時間的な余裕がない。かといって、従来型の「官僚主導」に戻れるわけでもない。どこに活路を見出すべきか、民意に裏打ちされた小泉政権がどのような方向を目指すのか、日本はまさに岐路にさしかかっているようである。

オーラ

*日本からの購読お申し込みは第一勧業銀行
麹町支店、普通預金『オーラ』の口座へ
年間購読料、三千円を振り込み、同時に
お申し込み用紙を下記へご郵送願います。

送り先 = O'RORA
73 McCaul St., Suite 729
Toronto, Ontario M5T 2X2 CANADA

□表紙の言葉□

「ひまわり」

山本 博

私の好きな花はひまわりと朝顔です。ひまわりの花の大きくて単純な形、朝顔の清らかな情感が好きです。

毎年種を蒔き、その成長を楽しみながら花が咲くと写生をして何点かのひまわりと朝顔の絵を描いています。

霜の降りる心配のなくなる五月二十四日頃に種を蒔き、約一週間から十日間くらいで芽が出てきて、数日すると双葉になり、二週間くらいすると双葉の間から本葉が出



てくる。日陰のひまわりはひよろひよろしている。日向(ひなた)のひまわりはしょうぶで元気そう。

だんだん子供の背丈ぐらい成長して七月にもなると、大人の背丈になり、つぼみがふくらんできて真っ黄色の大きな花を咲かせてくれます。私はこの色を「太陽の黄色」と呼んでいる。絵の具では出せない色だけれど、色を重ねて近い色が出た時はすこくうれしい。花の中央部の黄緑から黄金色に変わる種の部分はまるでひとつの宇宙だ。

真つ青に晴れた空とひまわりの花の「太陽の黄色」のコントラスト、太陽に向かってぐんぐん伸びていく姿を見ていると、何と人間の考えていることの小さいことか。心の中に積もっているもやもやもなくなり、身も心も空の青さに吸い込まれて胸のすくようなすつきりとした気持ちになるというものです。(ちなみにロシアン・ジャイアントというひまわりは何と三メートル以上の高さになります。世界記録は七メートル七六センチです。BC州で花の直径八二センチのひまわりも記録されています。)

□季節の食べるヒント□

▽美味しい塩ジャケの作り方

日本風の美味しい塩ジャケの作り方がある人から教わりました。まず第一にサケを選ぶこと。いわゆるパシフィックサーモンやアトランティックサーモンは脂肪分が多すぎ、独特の臭いがあるので塩ジャケには向かない。それで初夏から夏にかけて太平洋岸で獲れる紅サケを求めなくてはならない。紅サケの一匹か半身を買って、一匹なら二枚に下ろしてもらい、皮と身の両側に塩を白くなるほどたっぷりまぶして、ラップして一晩冷蔵庫に放置しておく。その後水気をよく切り、適当な切り身に切る。冷凍して保存してもよし、すぐ焼いて食べてもよし。塩加減と放置時間次第で新巻になったり、塩ジャケにもなる。

▽新ショウガ

中国人の食料品店でこの季節、新ショウガを見つけたら、数ポンド買って、一年分のショウガを漬けて込み、保存しておく。薄い黄色の柔らかい新ショウガの甘皮をとり、きれいにし、洗ってから薄く刻む。空き瓶に水で薄めた日本酢を三分の一から半分くらい入れ、塩、砂糖を適宜加えてから刻んだショウガを

漬けて込み、冷蔵庫に保存しておく。二、三日経つとピンク色のきれいな「ガリ」が出来る。防腐剤を使わないガリは味も良い。

□豆腐の保存

豆腐を洗う、と聞いた時は驚いたが、洗うと確かに長持ちがする。まとめて沢山豆腐を買った時や食べきれなくて残った時、水に浸けて冷蔵庫に保存してある豆腐の面を蛇口の水で注ぎ洗いをしつめめりが出ないようにするといいたみがおそく長持ちがする。それでも残りそうなた時はよく水切りをしてタッパーに入れて冷凍庫に入れておくと高野豆腐ができる。豆腐だけでは無い、こんにやくも余った時は冷凍庫で凍らして、スポンジ状でこりこり独特の歯触りのする凍りこんにやくを作る。

□冷凍トマト

トマトの出盛りにバスケットで買って、さうと洗ってから冷凍庫にまるのまま放り込んでおく。シーズンが終わった時に、スチューやスパゲッティソースに使うと自然によく熟れたフレッシュな酸味が新鮮でおいしい。



四人の富美

(上)

小野冬生

ファイル「四人の富美」スタート

1999年9月4日土曜日 00:06:36

1
一九九九年九月四日、夜中。今夜は
ちよつと妙なことがあったので書き留
めておく。

七月からトロントとモントリオールの間を毎週往復している。モントリオールの郊外にある会社から頼まれてコンサルティングをしているからだ。

三年で終えるつもりだったトロントでの単身生活が六年目に入った。五月になってようやく緑になるトロントの夏はゴルフやバーベキューパーティーで仲間と集う楽しい季節だが今年こそ最後にしよつと思つている。トロントから車で六時間かかるモントリオールで働くとなると、夏

の楽しみが半減する。十年來知己の弁護士から仕事を頼まれたときは即座に断つたが、トロントに社長が行くから会つてくれと云われた。断るつもりで会つたのだが「十年來の問題があります。手伝つて頂けませんか」と社長から言われた途端、自分の中に棲む別な人格が仕事を三ヶ月だけ引き受けてもいいではないかと考えていた。

・問題解決には摩擦が伴う、先に延ばすほうが楽だ、解決したら自分は不要になる、などと考える日本の役人、政治家、銀行員、ジャーナリスト。悪化しつづける日本病がこの会社にも及んでいられるのかもしれない。社長は英語でのコミュニケーション能力に限界があつて解決できない。銀行とコンサルティング会社で英語を使つてきた身が手伝うべきではな

いか。
・三ヶ月で問題を解決できるかもしれない。七月は問題の最大要因を掴み、八月はそれを除去し、新しいシステムの設計をし、九月に実行する。

前向き思考、裏返せば単純思考だ。こんな風だからトロント生活が終らない。

片道六百キロの道を車を運転していると、段々ラジオの電波が届かなくなり、宇宙のはてに出たらこんなかもしれないと思う。山腹に群生している真つ赤なナナカマドが朝日に照らされているのを見つければ、この一瞬、ここにしか存在しない鮮やかな色を見ている自分の意識を不思議に思う。大きな夕焼けを追いかけながら走つていて、カーブを越えた途

端に空が薄暗くなり金星が見え、自分が宇宙に浮かぶ星の上にいるのだという思いが起きる。そういう感覚に疲れると、汽車や飛行機にすわる。汽車で霧のなかを行くと窓から見えるオンタリオ湖と岸の境目がなくなり、まるで湖上を走っているような感じになる所がある。飛行機に乗ると二十数年の出張で癖となつた、仕事からの開放感と、し残したことはないだろうかという軽い不安感がまじりあう。そういう時間が嫌いだはないのだと考へている自分は進歩が無いと思う。



地下を掘り、基礎工事をしている間は進捗していないように見えるのが高層ビルの建設だが、それに似た二ヶ月がたち、仕事は今月末か来月はじめには終わるといふ予感がある。そんな気分の方に桜田さくら、大森

富美子、天白滋郎の三人がトロントから車でモントリオールにやつてきた。

三人とも独身、私は家族を日本に残しての単身。連休をアメリカのタングルウッド音楽祭で過ごすという事になつてゐる。モントリオールを經由してバーモント州の山を抜けるルートはトロントからニューヨーク州のハイウェイを走るそれより遠くなるが、そのかわり景色が断然良いし、山間に散在する町に立ち寄つてちいさな美術館を覗くのも悪くない。目的地に早く着くより目的地ま

での時間も楽しむほうが正しい旅にきまつてゐる。

桜田さくら嬢は去年まで私が勤めていたコンサルタント会社に勤めてゐる。二十六歳、私の子供と同年代だ。職場で一緒だった二年間は同僚やお客さんを交えてたまに食事をするくらいの付き合いだったが、私が会社をやめると自分も転職したい、相談につてくれという。転職があたりまえの北米の会社ではあるが、やめるまで極秘裏に進めるのは日本と変わらない。そんなことで桜田嬢と何度か食事を共にした。それだけのことに味付けをする「ある種の人間」略して「アルシュジン」が

ゴルフ仲間のひとりがニヤニヤしながら「小野さん、若い女性とつきあつてゐるって噂だよ」と云う。彼はアルシュジンの典型である。目は美しいものを見ず、耳は低俗なことを聞きたがる。新聞やテレビ報道を嚙呑みにして疑う事をしない。アルシュジンは受動的であるが能動的な「アルシュハイマー」に変態することがある。アルシュハイマーはアルシュジンが喜んでとびつく嘘をついたり、正義の味方ぶつてみたりする。みずから発する言葉は天の声であるなどと云

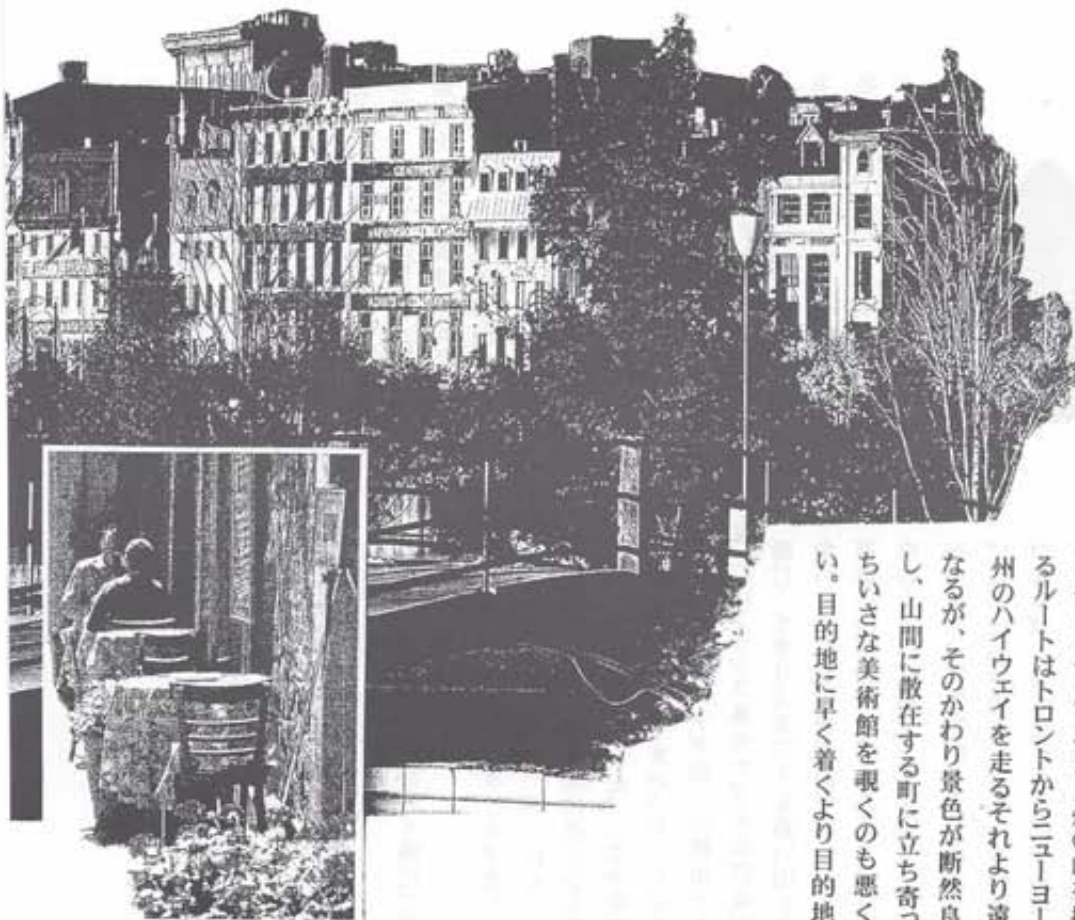
い始めたりするとアルシュハイマーも末期であるが、これが結構いろいろなところでリーダーにおさまつたりする。

アルシュジンにまともな反論は通じない。私は声をひそめて彼の耳もとで囁いた。

「美人だろ。実は、あの子は僕が若い頃ロシアに長期出張したときにできた隠し子。二十五年ぶりに再会したんだよ。ヒトに云つたりしちゃう駄目だぜ」

さくら嬢は色白でグラマラスな女性だ。ロシアの血が混じつてゐるといわれればそうかもしれないと思うような顔立ちをしてゐる。彼は卑屈なまなざしになり私を見上げた。彼の頭の中でロシア人と私の華麗な恋物語が展開し始めたようだ。歴史の知識が少しあれば、二十五年前のソ連に長期出張する日本の銀行員なぞいた筈がないと分かるのだが。嘘に決まつてゐる、と誰かに笑われて彼の病氣も進行がやむだろう。毒を以て毒を制すだ。

大森、天白の二人はトロント大学医学部に勤めている医学博士。大森嬢は脳の手術に先立つて行うレントゲン撮影の結果を読み取るのが専門。年は三十二、三の見当。関西弁





だが、優雅な京女というのではなく、この年代の女性の多くがそうであるように男と変わらない威勢のよい話し方をする。大森先生の話し方は私の娘に似ている。娘が電話で友達と話しているとき「オイ、オイ」と云ったのが聞こえてショックを感じたのは十年もまえになるだろうか。大森先生も娘も綺麗な顔だちをしているのだが、日本の女性がこういう話し方になつたのはいつの頃からなのだろう。日本で過ごした時間が少ないさくら嬢の日本語は古風で耳に心地よい。

いや、こんなことを書くころと思つてゐるのではない。急こう。天白滋郎。四十歳くらい。脳外科医。メガネの奥の眼は相手の顔を通り越して脳髄に焦点が当てられているみたいだ。

3

車でやってきた三人がホテルについたのは夜の八時を過ぎていた。ドクター天白とさくら嬢はモントリオールにくるのは初めて、大森先生は数年前にきたつきりだという。

「では、おのぼりさんが行く所にご案内しましょう」

タクシーを拾い、オールドモントリオールとよばれる一画に行く。小さい広場を中心に石畳の道がひろがり古い建物が立ち並んでいる中世の世界というしつらえだ。モントリオールはかつてカナダ最大の都市であったがフランス系カナダ人の自尊が嵩じ、イギリス系の人を追い出してからというものの経済が停滞し、今や道路のひびわれや建物の蔭でぼろ雑巾のように転がっている路上生活者が目立つ。世界中から人が集まりまばゆいばかりのシンガポールやクアラルンプールに比べると気の毒になるほどくすんで暗い。そんな中でとさら古色蒼然としたオールドモントリオールは思いつきり時代に取り残されているがゆえの美しさがあ

日は落ちたが蒸し暑い。余熱が残

っている石畳を歩くことにあきた三人が空腹だと云った。

「このレストランは三種類あります。高い、安い、中間。どれにしますか？」

「小野さんが高いというのは本当に高いから、いくらくらいですか」

「特別に高いのではないがさくら嬢の給料を考えると微妙な所である。」

「うーん、カナダ人観光客から見ると高いということかなあ」

「高いいうても日本円に直すと安いわ。モントリオールはワインが安いし」

大森先生は高いところに行きたいようである。

「店をみてから決めますかね。安いのは広場にあるクレープの専門店。あそこはバスして中間のここを覗いてみましょう」

「グリル」という看板のかかった門をくぐるとパティオがある。レストランと隣の建物の壁に囲まれ、井戸の底に落ちたような感じがする。ひどく狭いというのではないが閉所恐怖症のひとつには圧迫感があるかもしれない。テーブルがよつ出でて客が一組いた。

「わー、良い雰囲気、ここにしましよるか」

さくら嬢が叫んだが大森先生はすかさず云った。

「高いとこもみたいわ」

三ブロックほど離れたところにオペルジュル・サン・ガブリエルがある。大きな建物の前庭に出ている十個ほどのテーブルは客で埋まっている。

「わー、良い雰囲気！でも高いんですか？あつ、メニューがでてる、見ましょう」

さくら嬢が入り口に掲げられているメニューを覗き込んだが、大森先生がすかさず言った。

「ここがええわ」

さくら嬢があわてて追いかけた。

玄関を入ると広いホールがあつて食堂がみえない。食堂はホールの左右に分かれているようだ。ロングドレスの女性が出てきた。

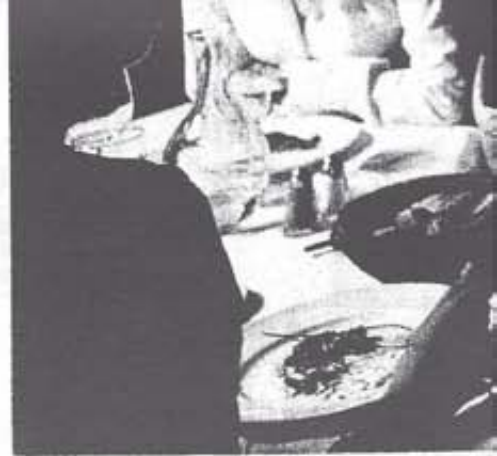
「四人だけれど、あいている？」

「ええ、良い席があります」

「あら素敵、ピアノがありますよー」

「中の方が涼しくて、ええわ」
大森先生はピアノには目もくれない。ドクター天白が黙ってついていく。

左の部屋の入り口までくると丸っこいからだのオトコに迎えられた。頭がはげている。五十過ぎだろうか、



ポールはワッハッハッハとおおきな声で笑った。

4

「オードブルを沢山とって飲む」

「あたしもそれがいい。小野さん、ワインを選んでください」

「赤と白どちらがいいですか」

「両方」と女性ふたりは声をそろえてさげんだ。

いや、もしかすると四十そこそこかもしれない。どんなことがあつても腹をたてたりしないように見える笑顔のなかに不屈な生気がみなぎっている。こういう男は体のわりには喧嘩が強いのだと思う。

「ようこそ、ようこそ、私はポールといます」

ポールは女性ふたりを抱きかかえんばかりにして両手をひろげ、そのままクルリと向きを変え両腕をたかくあげると二人は催眠術にかかったようにポールの腕にぶらさがった。テーブルに向かいながら私は言った。

「ポール、男性のわれわれも歓迎して欲しいな」

「あなたがたも歓迎していただけますとも」「いや、彼女たちのようにされたいのだよ。ただしあなたではなく、ご婦人から」

すのが人間という種に課せられた宿命・使命ではないだろうか。

前菜を四種類とつた。「まずはフォ

アグラヤ」と大森先生が宣言をした。カルパッチョ、アトランティック・

サーモンの味も悪くなかったが、平均コストを下げようと思つてとつたシーフード・プラター・フォーク・ツーク

がよかつた。二人用のシーフードというのだが四人でも十分な量の蟹、えび、

魚、貝などが大皿にきれいに盛りだてられている。つけあわせの茸をたべると

バターとハーブの絶妙な味がする。このソース変わつてるわ」

大森先生は私と同じ味箸を持つているようだ。さくら嬢は蟹に気を取ら

れている。ドクター・天白も茸に気がついていない。大森先生と私のあい

だで茸の争奪戦が進行する。

ポールがやつてきた。

「いかがですか」

「おいしいねえ」

「そうですね、それはよかつた、ワインはどうでしたか」

「トレ・ボン」

とさくら嬢がいうとさかさ大森先生が云つた。

「もう一本いこ！」

二人が顔をよせてどのワインにしよ

うかと相談をし始めた。

「ポール、このレストラン、いつ頃の建物？」

「一七五四年に建てられたものです」

「二百五十年もたつているの。そんなに古いのなら幽霊がでるんじゃないの？」

「二階に出ますよ。お爺さんと孫娘の幽霊が」

こんな風に相手をしてくれるポールがいる店は酒も料理もうまいときまつている。

「ポールが幽霊がでるつて云つていたけど」

メイン・ディッシュを運んできたウエイトレスに云うと、にこやかな顔に

狼狽の色があらわれた。彼女は深呼吸をするようにしてから云つた。

「本当にミスター・ポールが云つたのですか」

「ああ、でも」

ポールはファースト・ネームだからそれにミスターをつけるのは妙だなど思つたが、それよりウエイトレスの顔

が変わつたのがもつと妙だつた。

「冗談だろ、幽霊がでるなんて？」

「いいえ、です。ミスター・ポールからよく聞き出しましたね」

ウエイトレスのまなざしが柔らかくなつていた。別に聞き出したつもりは

なかったのだが。

「みんな、この二階には幽霊がでるぞうだよ」

「きやー、あたし、幽霊だめでーす」

さくら嬢がワインを飲み干した。

「さくらちゃん、幽霊みたことあるの？」

「ありません。小野さんはあるんですか？」

「二回みた。シンガポールとアメリカで」

「えー、ほんとですか？ どんな幽霊でしたか」

「いつか話してあげるよ」

「いま、聞かせてください」

「あまり楽しい話ではないから」

「いいです、聞きたいです、ねえ大森せんせ」

「聞きたいわー」

「どうするかな。ドクターは幽霊を信じますか」

「みたことがないので、なんとも。でも興味はあります」

ドクター天白は興味なさそうに答えた。大森先生が最後の茸にフォークをさした。

5

二十五年前にワシントン州のスポケ

ーンという町で開かれたエクスポを見に行ったときの話はしないことにした。通りのむこうに私をみている父を見つけたときはどうしてここに

来ているのだろうかといぶかった。死んだ父が現れたこと自体をおかしいとは思わなかった。生前から父とはあまり話をしなかつたし、家族や友人

もそばにいたのでそのまま通りすぎたのだが、あとになって声をかければよかつたと悔やんだ。体のどこかが

痛むのか、しかめっ面をしていた。兄弟たちが集まったときにこの話をしたら「お兄さん、夢でもみたのでしょ

う。お父さんだとしたってアメリカなぞにでるもんですか」と弟の嫁にた

しなめられた。学校の先生をしてい

る彼女は幽霊なんぞ信じないという顔をしたが、親孝行では義理の娘な

がら自分のほうが上だつたのだから出るとしたら自分のところに出る苦

だと云いたかつたのかもしれない。

「シンガポールで働いていたとき仲良くしていた子供のキャディーがいま

してね。十四年ぶりにシンガポールに行つたときに、その幽霊らしきもの

が出た」

「らしきものって、そのキャディー死

んだのですか」

さくら嬢は柔らかい表情のまま刑事が詰問するように云うことがある。

「生きている。三十歳を越している筈だが、初めて会つたときの彼が現

れたのです」

「子供の姿で現れたのですか」

「それもゴルフの最中。森の中に立つて、にこにこしてるんだなあ」

シンガポール・アイランド・カンツリー・クラブ、サイムコースの十六番

ホールで二打目を左の森に打ち込んだときに笑いながらボールを捜し

にいつた十三歳の少年を十八年たつてから同じ森の中で見た話をした。

「ドクターはこういうのをどう解釈されますか」

「そうですね、第一に考えられるのは白昼夢です。体が疲れると脳も疲

れて錯覚が生じやすくなります。気を失つたような状態のときに十八年

前の記憶が蘇る。眼を開けたまま夢を見るようなものです。その夢が現

実だと錯覚したりする」

なるほど白昼夢というのはそういうことか。スポケーンでは白昼夢を見たのだからか。

「暑かつたし、十六番ホールともなる」と疲れますからね

「どのくらいの間みえていました？」

「一緒に回っていた銀行の支店長にもその少年がみえていたのです」

「だとすると、夢ではないですね」

ドクターは考え込むような顔をした。

「他人の空似かもしれない。マレイシア人つて、同じようにみえるから」

私はドクターが楽になるようにいいわけをした。

「そうだ、大森先生、あなたは富美子さんといいましたね。知人から聞いた話ですが、一杯のんでから話しましょう」

大森先生とさくら嬢が選んだ赤

ワインは値段の高いフランス・ワインだつた。

含んでみると値段ほどのものではないと思つた。大森先生も「さっきの

ほうがええなあ」と呟いた。(続)



「Tea with Milk」

帰国子女だった

母親がモデル

日系アメリカ人アーティスト、アラン・セイ(Allen Say)の創りだす絵本の世界には、一本のまっすぐな主張がある。

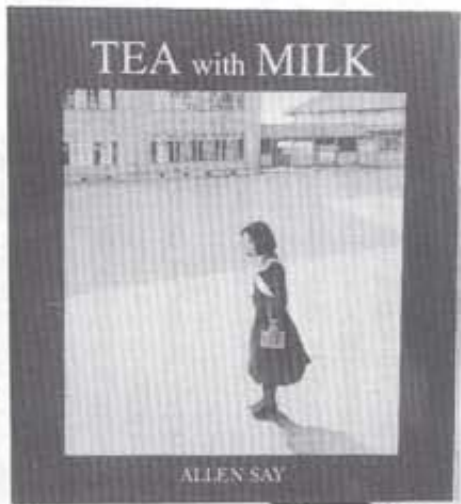
Tea with Milkは、作者の両親の出会いが、母親マサコの生き方を中心に語られている。マサコは米国サンフランシスコ生まれ。家庭では日本語で話し、マサコだからママちゃんと呼ばれている。食事は、ご飯にお味噌汁、そうして緑茶。だが、一歩外にでれば英語の世界だ。友達にはメイと呼ばれ、一緒にパンケーキやマフィンを食べる。お茶と言えば、ミルクや砂糖をいれた紅茶のことだ。マサコ(メイ)はふたつの文化を行き来しながら暮らしていた。

アメリカでの高校生活を終えたマサコに、大きな転機が訪れる。帰国する両親とともに日本での新しい生活が始まったのだ。周囲からは「外人」とつまはじきにされ、深い悲しみを味わうマサコ。両親の母国日本は、アメリカ生まれのマサコにとっては異質の世界ではない。親からは日本人女性としてのたしなみやお見合言いを強要され、自己を失いかけるマサコだが、自分の道を切り開こうと

思いきった行動にでる。良家の子女が外で働かなかった時代に、自ら職を求めて大阪へ。勤務先のデパートでは、エレベーターガールから、海外の客人を案内する職へとステップアップしてゆく。美しい着物を着て、外人相手に英語を流暢に操るマサコ。そんなマサコを見初めた東洋人の若者がいた。英国人夫妻にもらわれて英国の学校で学んだというその若者ジョセフは、マ

サコ(メイ)に言う。「メイ、家庭とは、そこに在って、きみを待ち望んでいる場所でも建物でもないんだ。アメリカでも他のどんな土地でもないんだ。」家庭とは自分で創ってゆくもの、と言うジョセフにマサコは頷く。

この絵本の見どころは、シンプルな英文に添えられている抑えた色調の奥行きある水彩画だ。サンフランシスコ時代のメイちゃんは、白いワンピース姿で、ちよつとはにかんでいる。



時代を感じさせるセピアカラーの写真のような画面には米国旗が揺れている。日本での高校時代、誰もいない校庭に、たった独りで立っているマサコの孤独感。

や住みやすい社会を求める我々に何かを教えてくれる。自分の居所は自分で創るしかない、道は自分で開拓するしかないというアラン・セイの主張は、日本とアメリカでの暮らしを通じての彼自身の生き方が証明しているのかもしれない。

【アラン・セイ】

一九三七年横浜生まれ。六歳の頃に漫画家への夢を抱き、十二歳で漫画家野呂新平に弟子入り。その後四年間、師を敬い、絵画を学ぶ。十六歳の頃、父の意向で米国へ移住。野呂新平のもとでの幸福な修行時代を描いた『The Ink-keeper's Apprentice』(一九七九年)や日本の昔話『The Boy of the Three-Year Nap』(一九八八年)をはじめ、数々の絵本を創出。アメリカへ移住した祖父の旅路を描いた『Grandfather's Journey』(一九八四年)絵本画家に与えられる最高榮譽のコレット賞を受賞。アメリカ人夫妻に引き取られた日本人の幼児の心の葛藤を著した『Allison』(一九九七年)は、米国の社会問題を浮き彫りにした。近作は夢を追求める若者の姿を描いた『The Sign Painter』(二〇〇〇)。年に一作を基準に丁寧な絵本を創っている。(Houghton Mifflin Company, ISBN 0-395-90495-1, <http://www.houghtonmifflinbooks.com/features/allensay/>)



□中国医学を勉強して本当によかつたと思える時は、自分でも諦めていた健康上の問題の解決策を見つけた時である。

病院でいろいろ検査してもらっても、「有効な治療方法がない」とか、「気のせい」とか医者から言われて、ほっておいても生死に関わるほどの問題でもないで自分で諦めているような事である。

例えば、長年の水虫とか、禿げ頭とか、軽いめまいや肩こりや動悸等など、誰でも考えたらすぐに一つや二つは言えるような事である。又、こんな事まで治療できるのかしらと思えることまで治療方法が書いてある。例を挙げると「幽霊を見やすい人のためのツボ」である。そして、半信半疑だが、実際に自分で

やってみると結構短期間で効果が現れるのも本当に不思議だ。主人は禿げ頭治療のために毎日頭のツボを電気で刺激する櫛を使用しているが、二、三日で髪の毛が黒くなり毛に艶が出て、何だか髪の毛が元気になってきたような気がする。本人もこれに結構満足しているようだ。

私も、頭がぼんやりしたり、軽いめまいがする時は、足の甲のツボに自分で鍼をする。十分も経つと頭がはつきりして集中して勉強もはかどるのである。正確な位置に鍼を入れることが出来たら、痛みや出血も全くない。(順子)

□人間にも二つのタイプの人間がいるようである。デジタル系(計

ひやひや とうふ

JAPANESE FOODS & GIFT SHOP
SANKO
730 QUEEN ST. W. TORONTO
TEL (416) 703-4550 / FAX (416) 703-8593
<http://www.toronto-sanko.com>

数型)の人とアナログ型(非直線・

連続型)の人である。デジタル時計は十時一分の次はホイッと十時二分に文字盤が飛んでいく。今、世の中を動かしているエリートや多数の人はデジタルタイプの人で、データをもとに既成概念で物事を合目的に処理するタイプである。現代の母親が子供に対して使う言葉の多くが「早くしなさい」であり、「早い」というのが価値なのである。アナログタイプの間がすっかり少なくなってしまう。このタイプの人間は一分から二分の間にあるものを簡単に概念化できないけれど、一分から二分の間の移行の中に全人生を見たり感じたりすることができるといった人間である。その特徴は連続を重視するため訓練によって本来の持続の相を掴もうとする種類の人である。

科学は方法によって成り立つが、おそらく芸術は方法の概念によって成り立つのではなく、現在忘れつつある訓練の連続の概念によって成り立つのである。方法を学ぶだけでは決して真の芸術は生まれて来ない。ひまわりの種を蒔き、花を咲かせてくれることを折りつつ、水を与えながらふと、そんなことを考えた。(山本)

□編集部の争点の一つは犬猫論争。犬好きはデジタル型、猫好きはアナログ型が多いのではないかと思います。どうも鳥好きとか動物嫌いとかもいるんですネ。

□マイゴルフは次号から継続します。

オーロラ購読申込み用紙

年4回発行 年間購読料16ドル(カナダ国内送料GST込み) 米国16米ドル
小切手を添えて郵送でお申し込み下さい。

ネーム _____
アドレス _____
郵便番号 _____

オーロラ

(代表・平塚かずよ)



SHISEIDO BEAUTY INSTITUTE



資生堂125年の歴史を展示するギャラリー
(ビューティ・インスティテュートの内部)

SHISEIDO BEAUTY INSTITUTE では、毎日、スキンケア・メーキャップなどの各種美容講座を開講しています。

カナダの皆様にも、資生堂化粧品をもっと知っていただきたい、という願いを込めて、講座へのご参加は完全無料、会場での商品の販売も一切ありません。

なお、座席数に限りがありますので、事前にお電話にてご予約下さい。

住所： 1 Dundas Street W., Suite 2405
Toronto, ON M5G 1Z3

電話： 416-408-3700 (英語)

または、SHISEIDO CANADA (本社)

電話： 905-763-1250 (日本人スタッフ常駐) まで、お気軽にどうぞ

ショーフレックスのお客様はすべて V. I. P.

大・小バス / ミニバン / ストレッチリムジン
セダンなど... すべて日本語のガイドまたは
ドライバーがご案内いたします。



- 空港ご送迎・ナイアガラ観光は快適なリムジンで。
- テクニカルビジット・通訳 その他もアレンジいたします。

Show Flex International Inc.

315 Adelaide St. W., Toronto ON M5V 1P8

Tel: (416) 977-6849 Fax: (416) 977-7250

大きな引越し、小さな引越し。 日通なら安心の大きさは同じです。

日本に送るなら、やはり日本のエキスパートに頼むのが一番です。大家族の引越しから、小さなパッケージまで、大切な荷物を確実にお預かりし、誰よりも愛情をもってお届けいたします。荷物の大きさは違っても、日通なら信頼は変わりません。

ハートライナー

サービス内容を自由に選ぶ、オーダーメイド感覚の引越しプラン。

- 下見、見積り (無料)
- 日本人による丁寧な梱包
- 不用品の廃棄処分
- 譲渡家具の運搬・一時預かり
- カナダ国内引越し
- ピアノ・愛車・ベットなどの運送ほか
- 船便・航空便の自由な組み合わせ
- ベリカンクラブによる家具売買の仲介

安々パック (船便)

留学や単身赴任など、家財の少ない方のためのお手軽な引越しプラン。

- 基本パック
一個あたりCAN\$120.00
個数が多くなればより割安になります。
- お引取から配達までドア・ツー・ドアでお届け

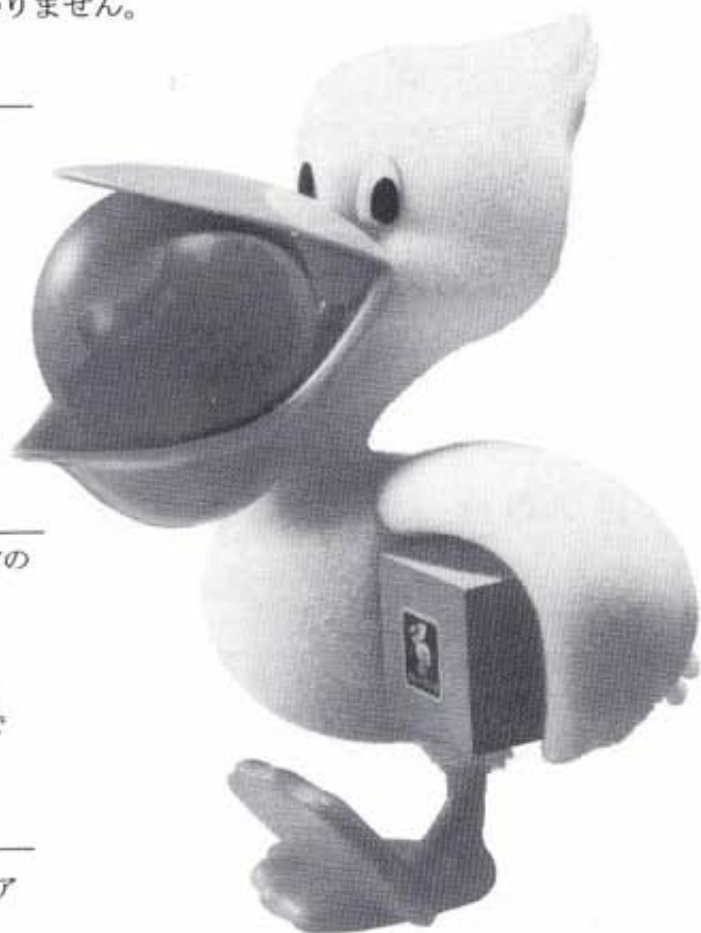
ペリカンジェットパック (航空便)

小荷物やギフトなど、ドア・ツー・ドアでお届けします。

- 料金：1Kgから70Kgまで
1Kgごとに料金設定
- 日数：約1週間

● あなたのお近くの支店に日本語でお問い合わせください。

トロント 1-888-464-8878 (フリーダイヤル)
バンクーバー 1-887-464-8878 (フリーダイヤル)
モントリオール (514) 631-6436
カルガリー (403) 221-1850



カナダ日本通運
NIPPON EXPRESS CANADA LTD.